

## 画面で見るマニュアル

セキュリティ USB メモリー  
ED-S4/R シリーズ



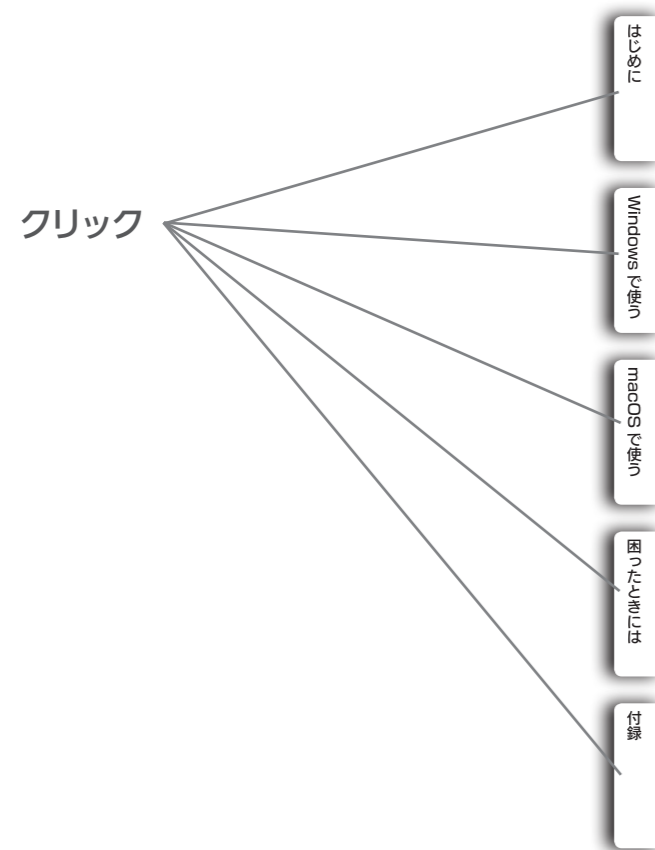
[【マニュアルアンケートはこちら】](#)

よりよいマニュアル作りのためアンケートにご協力願います。

# 本書について

## 見出しの操作

ページの端にある見出しをクリックすると、該当のページに移動できます。



## マークの説明

**ヒント** 本製品を使う上で知っておくと便利な情報を記載しています

**注意** 本製品を使う上での注意事項を記載しています

## 本マニュアルでの表記

- Windows 編は、Windows 8.1 の画面で説明しています。
- macOS 編は、メニューバーのアプリケーションメニューからの操作で説明しています。Dock の SUGate4 ポップアップメニューからも同様の操作が可能です。

▼メニューバーのアプリケーションメニュー



▼Dock の SUGate4 ポップアップメニュー



# 目次

## はじめに 6

本製品の特長	6
動作環境・ハードウェア仕様	8
使用上のご注意	9

## Windows で使う 11

### 準備する (初めて使用する場合)

パスワードを設定する	12
------------	----

### 使ってみる

ログインする	15
取り外す (ログアウトする)	18

### こんなときは

SUGate4 の自動起動を設定する	20
パスワード・ヒントを変更する	22
初期化する	24
自動アップデートチェックの設定をする	28

## macOS で使う 31

### 準備する (初めて使用する場合)

パスワードを設定する	32
------------	----

### 使ってみる

ログインする	35
取り外す (ログアウトする)	38

### こんなときは

パスワード・ヒントを変更する	40
初期化する	42

## 困ったときには 45

よくあるトラブルを確認	45
エラーメッセージ一覧	48

## 付録 54

「オプションソフトウェア」について	54
「管理者用ソフトウェア」について	54
バージョン情報の確認	55
アフターサービス	56

## 本製品の特長

### ■ ログインソフトウェア『SUGate4』搭載

本製品はログインソフトウェア『SUGate4』を搭載しています。  
『SUGate4』には以下の機能があります。

- 「データ保存領域」へのログイン
- 初回起動時のログイン用パスワード、ヒントの設定
- パスワード、ヒントの変更
- パスワード入力連続5回ミスでログインを不可能にする
- USBメモリーログイン時にデータ保存領域内の「Autorun.inf」を自動で削除する
- アップデート可能な最新のソフトウェアがないか自動でチェックする（Windowsのみ）

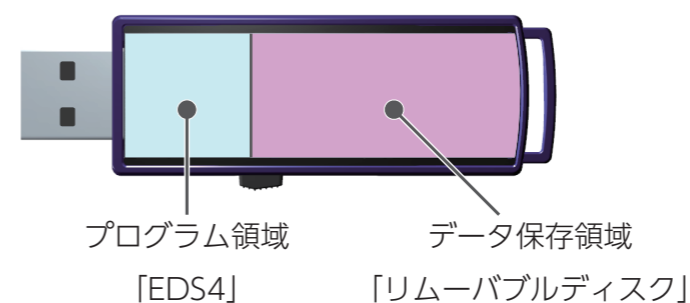
### ■ 『自動起動ツール』搭載 ※ Windowsのみ有効

自動起動 登録をおこなうと、USBメモリーをパソコンに接続したときに、自動でパスワード入力画面が起動します。

毎回パスワード入力画面を起動する操作が必要なく、手間が省けます。

### ■ ドライブの表示について

- 本製品内部のイメージ図



本製品はログイン前とログイン後で、[PC (コンピューター)] (macOSの場合はデスクトップ上) に表示されるドライブ (ボリューム) 名が異なります。

	ログイン前	ログイン後
ドライブ	プログラム領域 [EDS4]	データ保存領域 [リムーバブルディスク]
説明	データは書き込めません。 本製品を動作させるプログラムが入っています。	通常のUSBメモリーと同様にデータの読み書きができます。
表示	<p>▼ Windows</p> <p>▼ macOS</p>	<p>▼ Windows</p> <p>▼ macOS</p> <p>※環境により表示が異なる場合があります。 (例:「NO NAME」「Untitled」)</p>

#### ヒント

#### ED-S4/MOTR シリーズの場合

本マニュアルは ED-S4 シリーズと共通のため、PC (コンピューター) に表示されるドライブを「EDS4MOT」に読み替えてください。

## 動作環境・ハードウェア仕様

### ■ 動作環境

対応機種	USB 3.1 Gen 1(USB 3.0)/USB 2.0 ポート Standard A コネクタを搭載したパソコン
対応OS (日本語版)	Windows 10(32/64ビット版) Windows 8.1(32/64ビット版) Windows 7(32/64ビット版) Windows Server 2016(64ビット版) Windows Server 2012 R2(64ビット版) Windows Server 2012(64ビット版) Windows Server 2008 R2(64ビット版) <sup>※1</sup> Windows Server 2008(32/64ビット版) <sup>※1</sup> macOS 10.11~10.13  ※1:Windows ServerのItanium版は非対応です。
USBポート	本製品接続時に1つ必要

#### 注 意

- ・ Guest 権限ではご利用いただけません。
- ・ 初期化ソフトウェア「SUReset4」は macOS には対応しておりません。  
また、Windows Server 2016/2012 R2/2012/2008 R2/2008 の場合、管理者権限を持ったローカルユーザーでのみ使用可能です。
- ・ Windows Server 2016/2012 R2/2012/2008 R2/2008 では、初期化ソフトウェア「SUReset4」を起動時に「管理者として実行」の選択が必要な場合があります。
- ・ 各対応アプリケーションの対応 OS は上記とは異なります。
- ・ 英語表記対応です。(ただし、サポートは日本語版 OS のみとなります)
- ・ 最新情報は弊社 Web ページをご覧ください。 <https://www.iodata.jp/>

### ■ ハードウェア仕様

インターフェイス	USB 3.1 Gen 1(USB 3.0) / USB 2.0
電源	DC5V(USBバスパワーにて供給)
消費電流	400mA(max) 読み書き時
使用温度範囲	0~45℃
使用湿度範囲	10~90% ※結露なきこと
外形寸法	ED-S4/Rシリーズ:約24(W) × 59(D) × 8(H) mm ED-S4/MOTRシリーズ:約24(W) × 59(D) × 9(H) mm ※コネクタ収納時、スライドスイッチ含む
質量	ED-S4/Rシリーズ:約10g ED-S4/MOTRシリーズ:約11g

## 使用上のご注意

#### [ 定期的にバックアップしてください ]

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。万が一に備え、本製品内に保存された重要なデータについては、必ず定期的に「バックアップ」してください。本製品または接続製品の保存データの毀損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などを行うこともできません。なお、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。

#### バックアップとは

本製品に保存されたデータを守るために、別の記憶媒体 (HDD・BD・DVD など) にデータの複製を作成することです。(データを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが2か所にあることを「バックアップ」と言います。)

万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップしてください。

#### [ 最新のファームウェアをご利用ください ]

本製品のハードウェア保証適用のために、ファームウェアまたはソフトウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。

#### [ ご使用について ]

- パスワード入力を連続5回間違えた場合は、初期化ソフトウェア「SUReset4」で初期化が必要となります。初期化すると、本製品内のデータはすべて削除されます。
- パスワードを忘れてしまった場合は、パスワード変更できません。初期化ソフトウェア「SUReset4」で初期化が必要となります。初期化すると、本製品内のデータはすべて削除されます。
- 複数台の本製品を、1台のパソコンに同時に接続し使用することはできません。
- 本製品の読み書き中は、パソコンから本製品を取り外さないでください。故障、データ破壊の原因になります。
- 本製品はあらかじめ FAT ファイルシステムにてフォーマット済みのため、通常フォーマット (初期化) する必要なく、そのままお使いいただけます。
- 本製品は、隣り合う USB ポートの間隔により複数の USB ポートを同時に使用できない場合があります。差し替えてご利用ください。
- 本製品は OS 起動後にパソコン本体に挿してください。本製品をパソコン本体に挿したままパソコンを起動した場合、OS が起動しなかったり、本製品が正常に認識されないことがあります。



- USB ハブに本製品を接続する場合、ご利用の環境によっては、正常に動作しないことがあります。パソコン本体の USB ポートに直接差し込んでください。
- 電力不足となるため、USB インターフェイスを装備したキーボードに本製品を接続してお使いいただけない場合があります。パソコン本体の USB ポートに直接差し込んでください。
- パソコン本体の USB ポートに本製品を接続する際、取り扱いが不便な場合は、USB 延長ケーブルをご利用いただければ、手で本製品を抜き挿しできます。別途市販の USB 延長ケーブル [A プラグ (オス) ⇄ A プラグ (メス)] をご用意ください。なお、本製品を USB 3.0 でお使いいただく場合は、USB 3.0 に対応した USB 延長ケーブルをご用意ください。
- 本製品は、ユーザーの簡易切り替えには対応しておりません。  
ユーザーを切り替える場合は、本製品をパソコンから取り外してください。
- パソコンをスリープ・休止などの省電力モードにするときは、本製品をパソコンから取り外してからおこなってください。
- デバイスマネージャーにて、本製品の“高パフォーマンス”設定はしないでください。(Windows 8.1/7 のみ)
- USB ポートに挿しても、まれに認識しない場合があります。いったん抜いてから挿し直してください。
- 容量に空きがあるのにファイルを保存できない場合があります。フォルダーを作成して、フォルダー内にファイルを保存してください。
- macOS で使用する際、Dock の SUGate4 ポップアップメニューに表示される「Dock に追加」「ログイン時に開く」は機能しません。

# Windows で使う

## 準備する (初めて使用する場合)

[パスワードを設定する](#) 12 ページ

## 使ってみる

[ログインする](#) 15 ページ

[取り外す \(ログアウトする\)](#) 18 ページ

## こんなときは

[SUGate4 の自動起動を設定する](#) 20 ページ

[パスワード・ヒントを変更する](#) 22 ページ

[初期化する](#) 24 ページ

[自動アップデートチェックの設定をする](#) 28 ページ

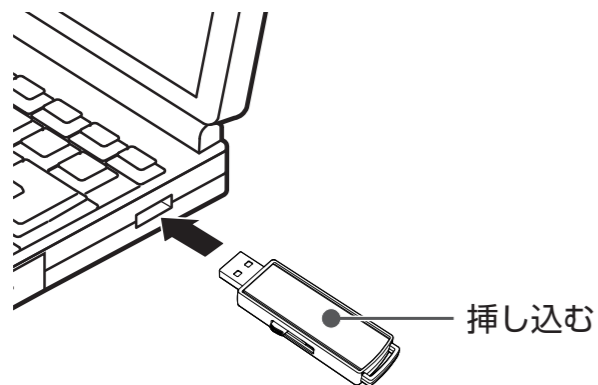
## 準備する (初めて使用する場合)

# パスワードを設定する

本製品を使用するには、最初にパスワードを設定します。

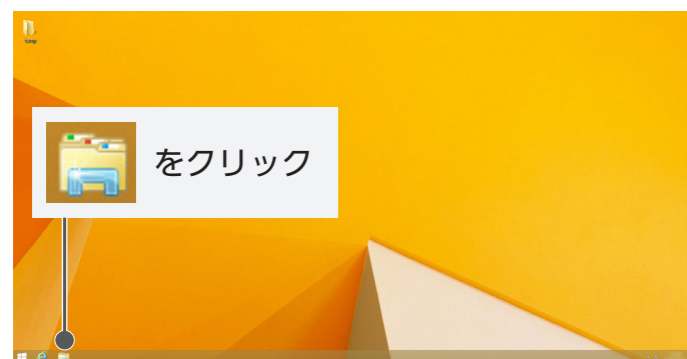
※ macOS で設定済みの場合は必要ありません。

**1** 本製品をパソコンのUSBポートに挿し込みます。

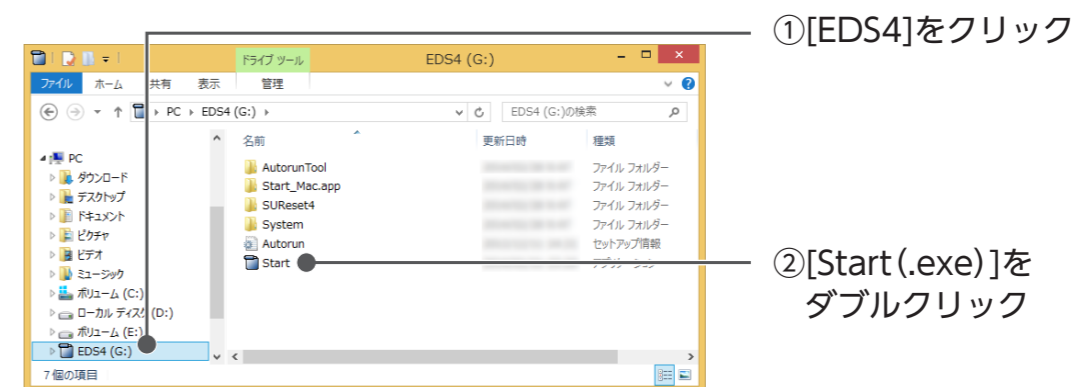


**ヒント** 本製品を初めて使う場合、Windows が本製品を認識して、自動的に必要なドライバーをインストールします  
ドライバーのインストールが終了するまで、SUGate4 での設定、ログインなどはしないでください。

**2** エクスプローラーを開きます。

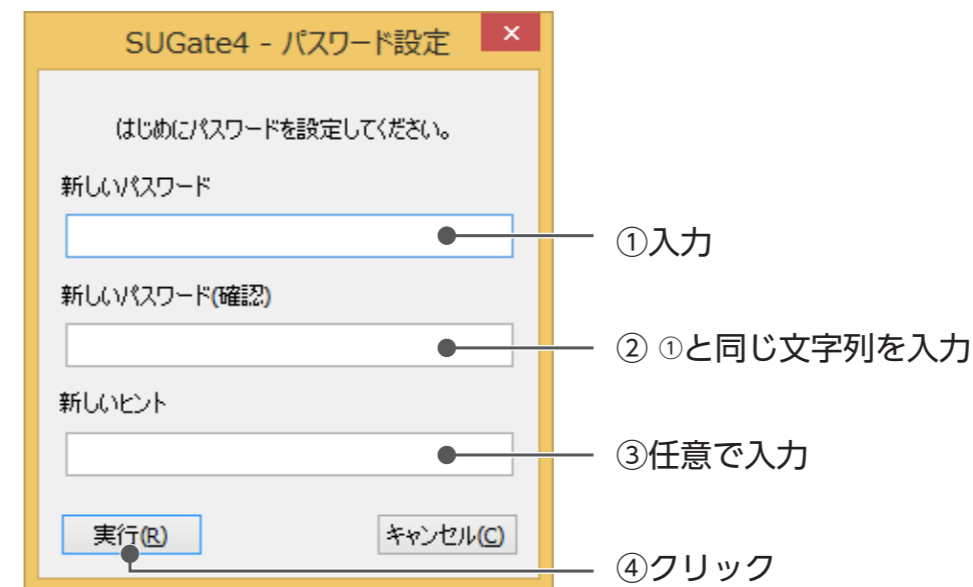


**3** [SUGate4]を起動します。



**4** ソフトウェア利用許諾が表示されるので、内容を確認し[同意する]をクリックします。

**5** パスワードを設定します。



新しいパスワード	ログイン時のパスワードとなる文字列を入力します。(半角英数字と半角記号4~16文字) ※大文字・小文字は区別されます。 ※使用できる半角記号は以下です。 !"#\$%&'()+,-./:;<=>?@[^_`{ }~
新しいパスワード(確認)	[新しいパスワード]と同じ文字列を入力します。
新しいヒント	任意で、パスワードを入力する際にヒントとなる文字列を入力します。(0~64文字) ※文字数に半角・全角の区別はありません。

**ヒント** SUHManager によってヒント表示を制限されている USB メモリーでは [新しいヒント] の入力欄は表示されません

はじめに

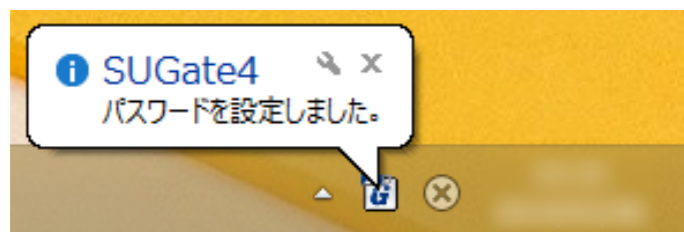
Windows で使う

macOS で使う

困ったときには

付録

- 6 通知領域のSUGate4アイコンに、メッセージが表示されたことを確認します。



以上で、パスワードの設定は完了です。  
次に [【ログインする】 \(15 ページ\)](#) にお進みください。

**ヒント** 設定したパスワードは、macOS でログインするときにも使用します

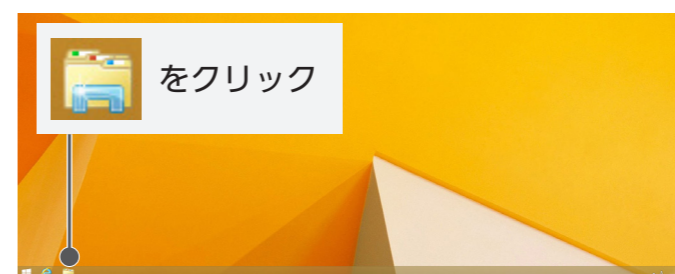
## 使ってみる

### ログインする

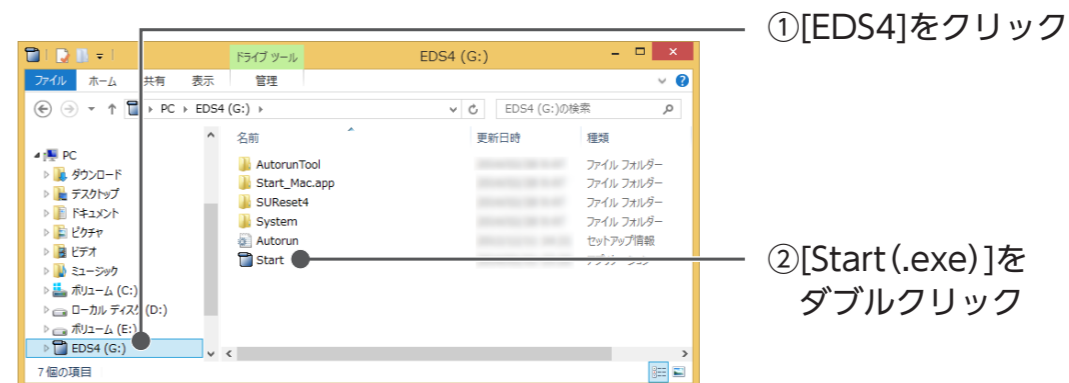
ログインすると、データの読み書きができるようになります。  
以下の手順でログインしてください。

※パスワード設定直後の場合は、手順 4 から始めてください。

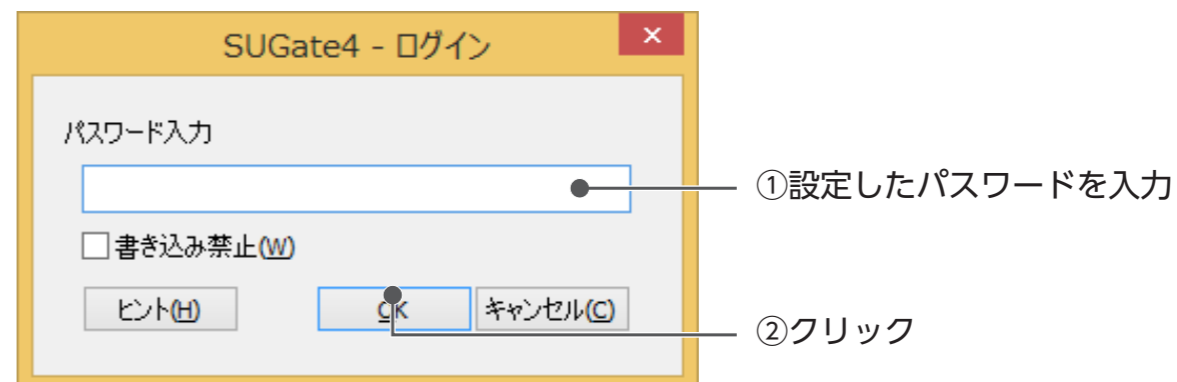
- 1 本製品をパソコンのUSBポートに挿し込みます。
- 2 エクスプローラーを開きます。



- 3 [SUGate4]を起動します。



- 4 パスワードを入力します。



**ヒント** [ヒント]をクリックすると、ヒントが表示されます



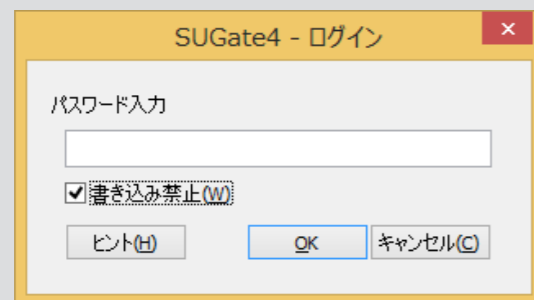
**ヒント** 書き込み禁止にする場合

[書き込み禁止]にチェックをつけてログインすると、データ保存領域を書き込み禁止にすることができます。

※ SUHManager によって、書き込み禁止を設定されている USB メモリーでは、

[書き込み禁止]チェックボックスは表示されません。

※前回ログイン時に書き込み禁止になっている場合は、[書き込み禁止]にチェックがついた状態で、ログイン画面が表示されます。

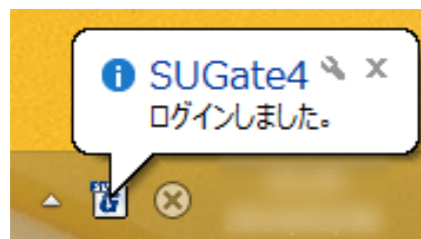
**注意** パスワードの入力ミスについて

パスワードの入力ミスを連続 5 回すると、ログイン不可能となります。

アクセスするためには、初期化ソフトウェア「SUReset4」での初期化が必要です。

⇒ [【初期化する】\(24 ページ\)](#) 参照

※初期化すると、本製品内のデータは全て削除されます。

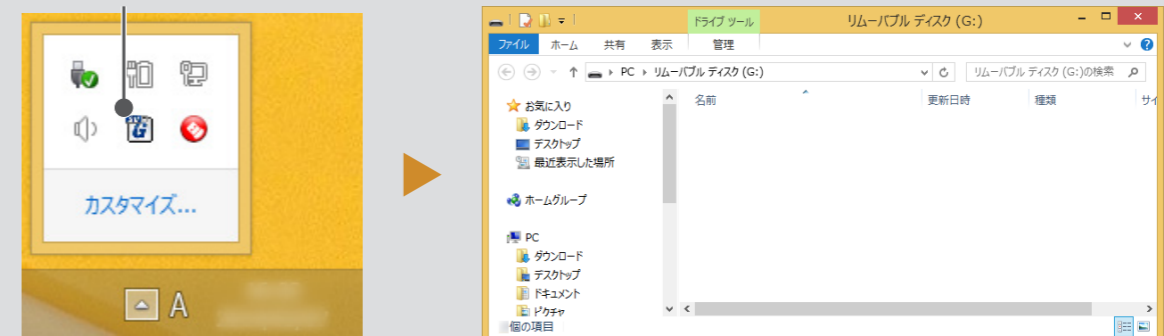
**5** 通知領域のSUGate4アイコンに、メッセージが表示されたことを確認します。

以上で、ログインは完了です。

これで通常の USB メモリーと同じように、本製品に対してデータの読み書きができます。

**ヒント** ログイン後に、通知領域の SUGate4 アイコンをダブルクリックすると、リーバブルディスクを表示できます

ダブルクリック

**Autorun.inf 自動削除機能について**

パスワード認証時に、データ保存領域内をチェックして、「Autorun.inf」があった場合は、削除します。「Autorun.inf」を悪用したオートラン・ウイルスの感染を防止できます。



※ Autorun ウィルスなどの動作を必ず防止できる機能ではありません。

※データ保存領域が書き込み禁止状態の場合、「Autorun.inf」は削除されません。

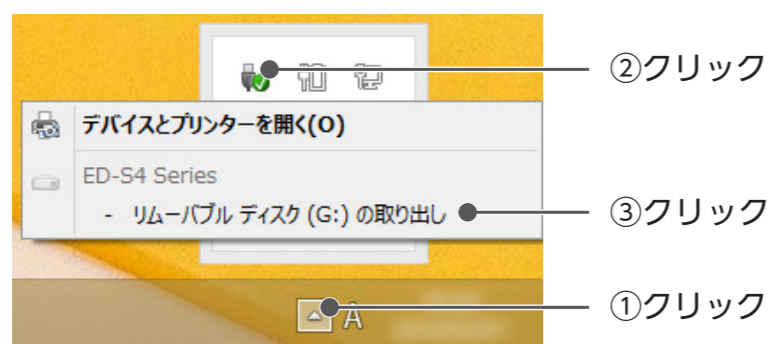
## 取り外す (ログアウトする)

パソコンの電源が入っている状態で取り外す場合は、以下の手順で取り外し (ログアウト) をおこなってください。

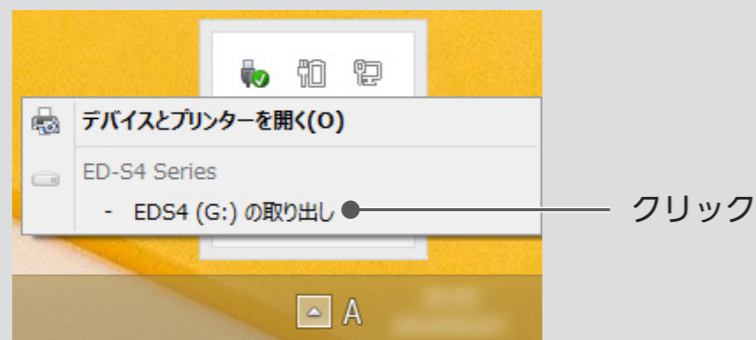
※パソコンの電源を切ってから取り外す場合は、以下の手順は不要です。

- 注意**
- 本製品の読み書き中 (アクセスランプ: 点滅) は、パソコンから本製品を取り外さないでください  
データの消失や故障の原因となります。
  - USB メモリーにログインした状態でスリープ・休止をおこなった場合、実行中のファイルが失われたり、異常終了する可能性があります  
本製品を取り外してから、スリープ・休止をおこなってください。

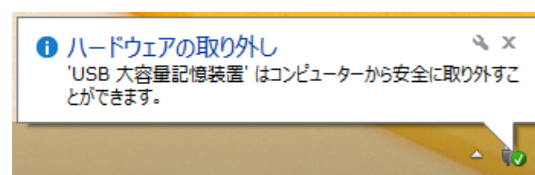
### 1 ハードウェアの安全な取り外しをします。



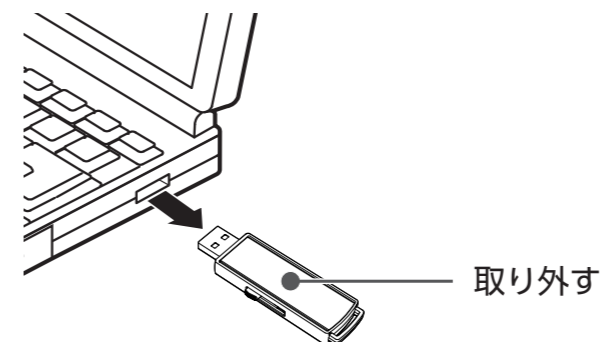
**ヒント** ログイン前は表示が異なります



### 2 メッセージを確認します。

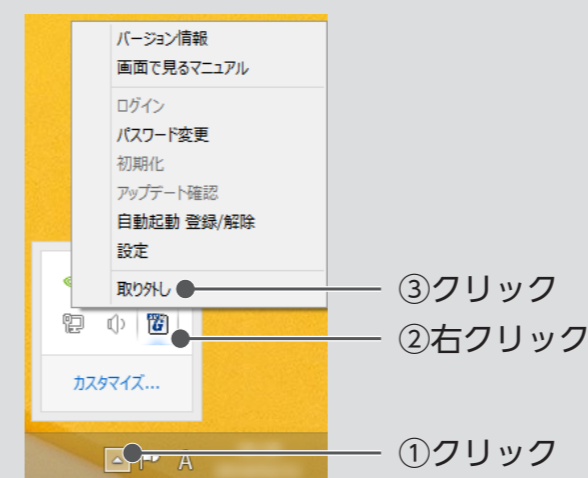


### 3 アクセスランプが点滅していない もしくは消灯していることを確認し、取り外します。



以上で、USB メモリーの取り外しは完了です。

**ヒント** SUGate4 アイコンからも取り外しできます

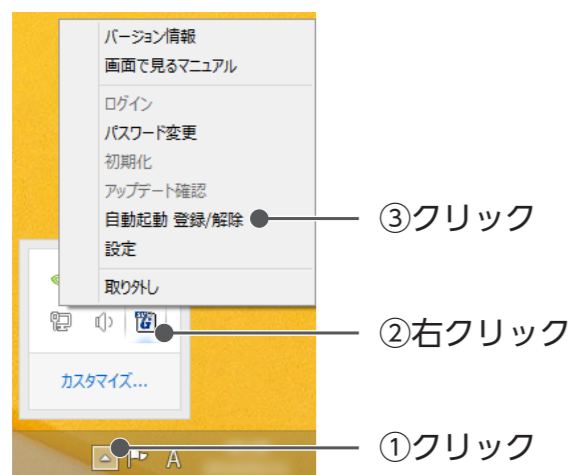


こんなときは

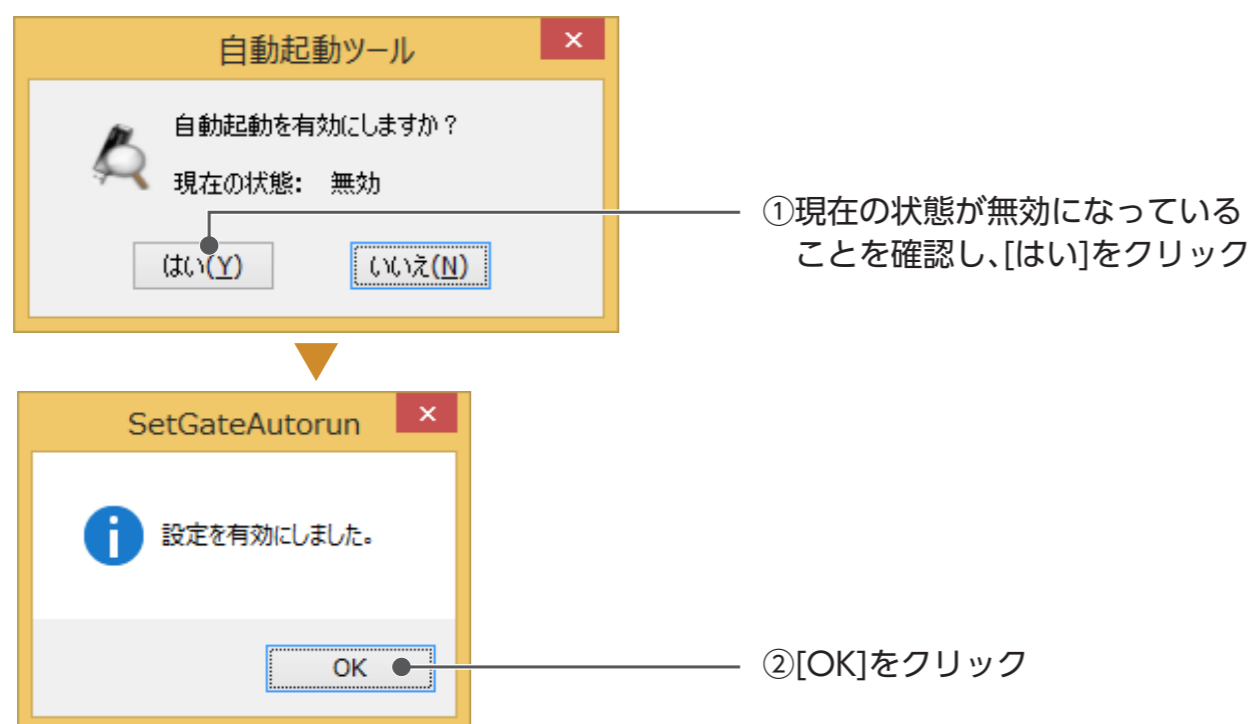
# SUGate4 の自動起動を設定する

自動起動ツールを [有効] にすると、本製品をパソコンに挿したとき、SUGate4 (ログインソフトウェア) が自動で起動します。毎回 SUGate4 を起動する操作が不要で、手間が省けます。

**1** SUGate4のメニューから[自動起動 登録/解除]をクリックします。



**2** [有効]にします。

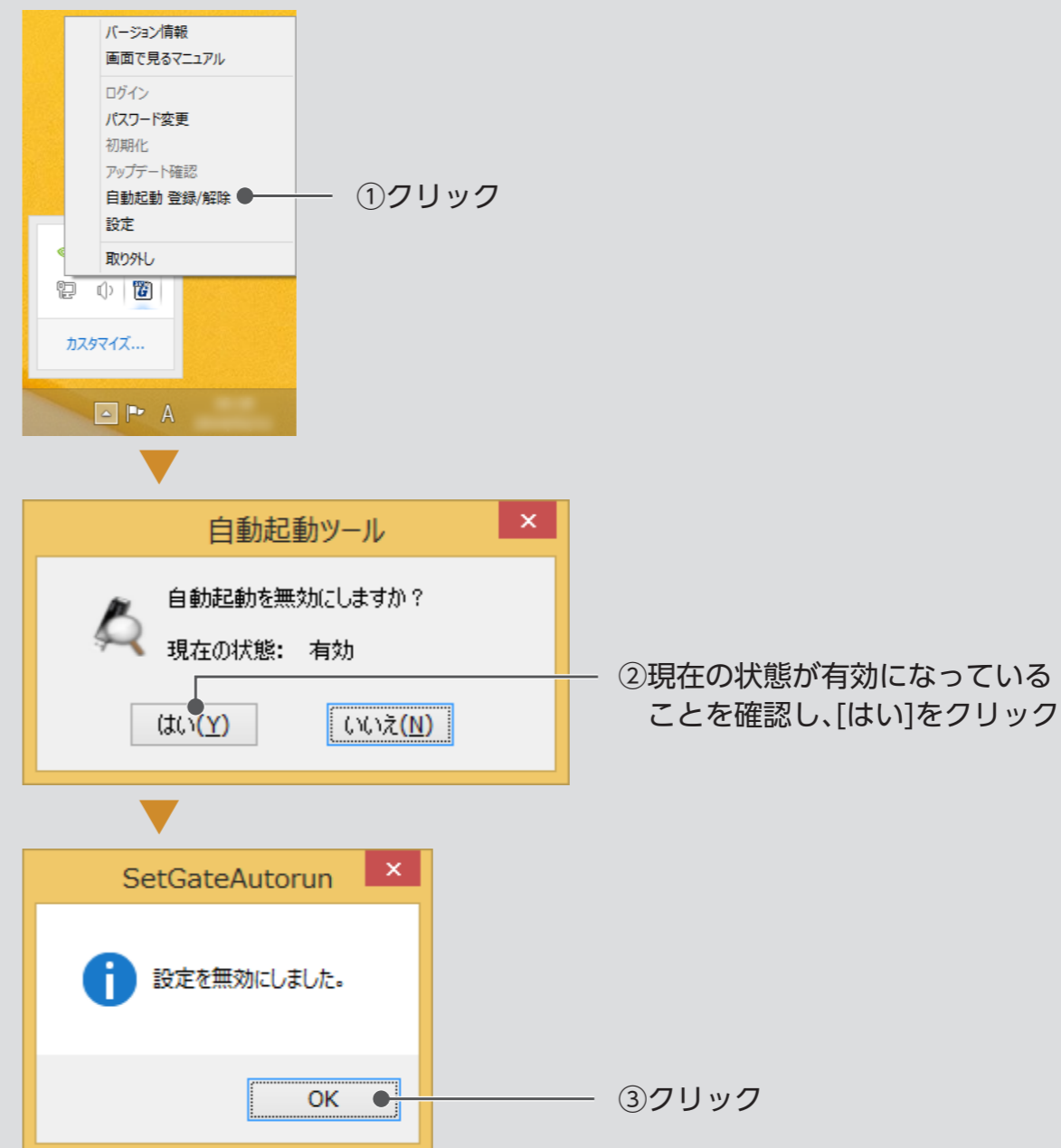


以上で、SUGate4 の自動起動は設定されました。

**ヒント** 本設定はパソコンに記憶されます  
本製品を別のユーザーアカウントや別のパソコンで使用する場合は、個別で設定が必要です。

**ヒント** 無効にする場合

同様の手順で無効にできます。



はじめに

Windows での使用

macOS での使用

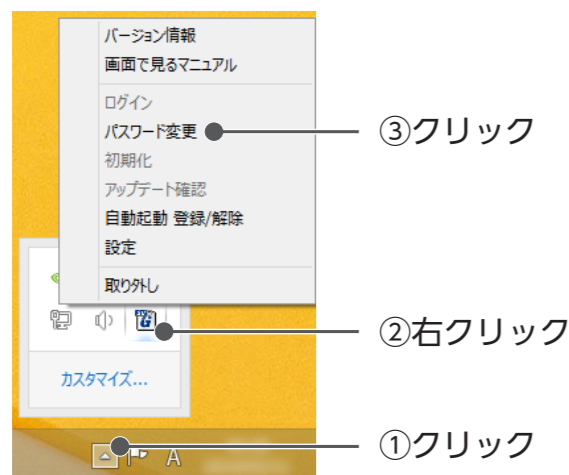
困ったときには

付録

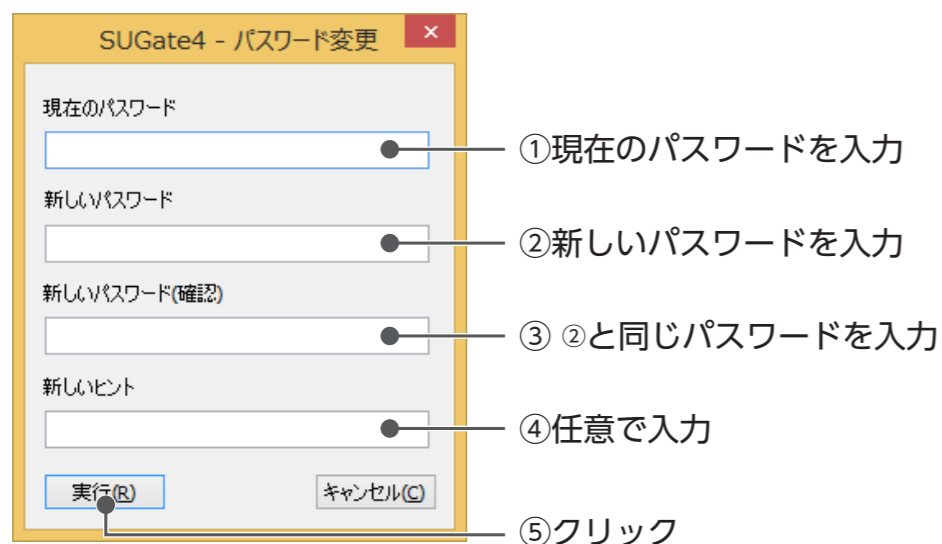
# パスワード・ヒントを変更する

**注意** パスワードを忘れてしまった場合、以下の手順でパスワードを変更できません  
 初期化ソフトウェア「SUReset4」で初期化が必要となります。  
 ⇒ [【初期化する】\(24ページ\)](#) 参照  
 ※初期化をおこなうと、本製品内に保存したデータは全て削除されます。

**1** SUGate4のメニューから[パスワードの変更]をクリックします。



**2** 以下を入力します。

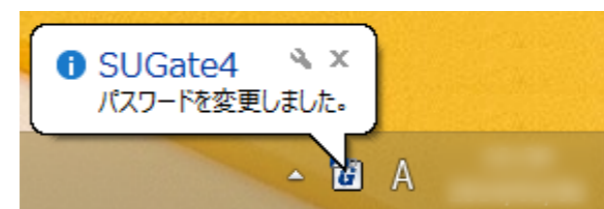


現在のパスワード	現在設定しているパスワードを入力します。
新しいパスワード	ログイン時のパスワードとなる文字列を入力します。(半角英数字と半角記号4~16文字) ※大文字・小文字は区別されます。 ※使用できる半角記号は以下です。 !"#%&'()+,-./:;<=>?@[^_`{ }~`
新しいパスワード(確認)	[新しいパスワード]と同じ文字列を入力します。
新しいヒント	任意で、パスワードを入力する際にヒントとなる文字列を入力します。(0~64文字) ※文字数に半角・全角の区別はありません。

**ヒント** ヒントのみ変更したいとき  
 [新しいパスワード]に[現在のパスワード]と同じ文字列を入力してください。

**ヒント** SUHManagerによってヒント表示を制限されているUSBメモリーでは  
 [新しいヒント]の入力欄は表示されません

**3** 通知領域のSUGate4アイコンに、メッセージが表示されたことを確認します。



以上で、パスワード・ヒントの変更は完了です。

はじめに

Windowsで使う

macOSで使う

困ったときには

付録



## 初期化する

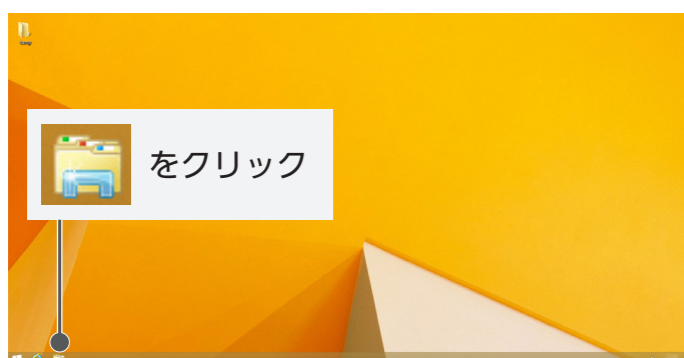
パスワード入力を連続 5 回間違えた場合や、パスワードを忘れてしまった場合は、初期化をおこなう必要があります。

- 注意**
- 初期化をおこなうと、本製品に保存したデータは全て削除されます
  - 初期化後、パスワードおよびヒントの再設定が必要です
  - SUHManager にて管理されている USB メモリーは初期化できません  
初期化する場合は管理者に相談してください。

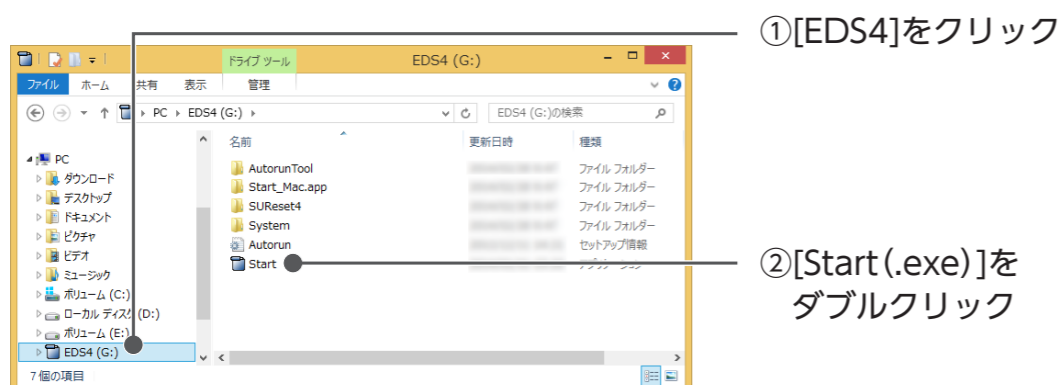
**1** 本製品をパソコンのUSBポートに挿し込みます。

**ヒント** 本製品は 1 本だけ接続してください  
本製品を複数接続した場合、実行できません。

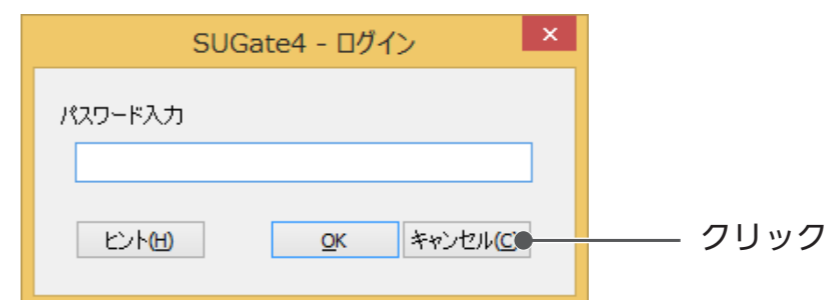
**2** エクスプローラーを開きます。



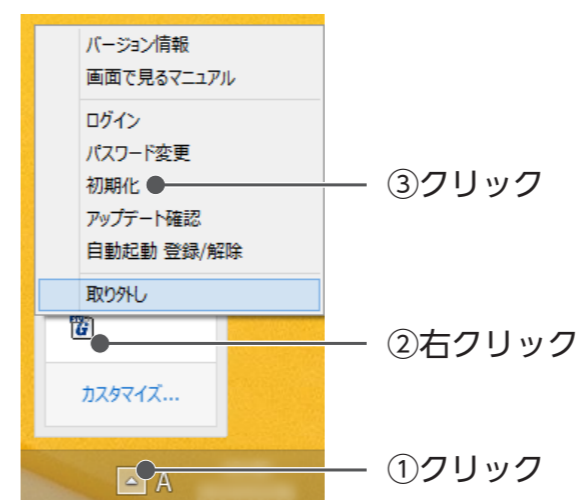
**3** [SUGate4]を起動します。



**4** ログイン画面で[キャンセル]をクリックします。



**5** SUGate4のメニューから[初期化]をクリックします。



**ヒント** Windows Server 2016/2012 R2/2012/2008 R2/2008 環境で、管理者権限を持っていても、「SUReset4」が起動できない場合

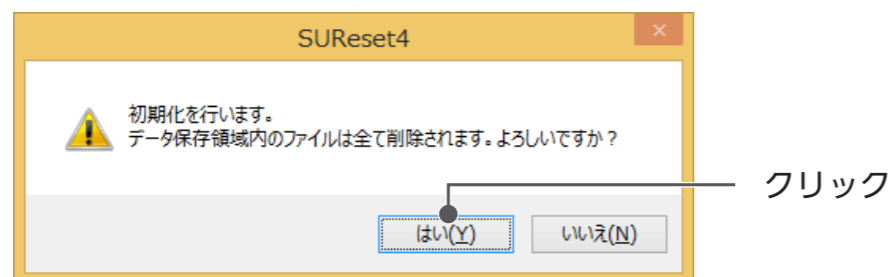
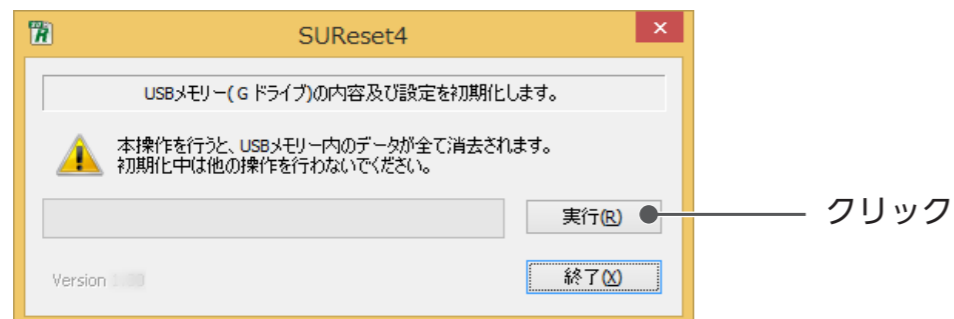
以下の手順で初期化をおこなってください。

- 1) 本製品のプログラム領域にある「SUReset4」フォルダーを任意の場所（デスクトップなど）にコピーします。
- 2) 本製品をいったん取り外します。
- 3) コピーしたフォルダー内の「SUReset4(.exe)」を右クリックして「管理者として実行」を選択します。
- 4) SUReset4 が起動したら、本製品を接続して初期化をおこなってください。



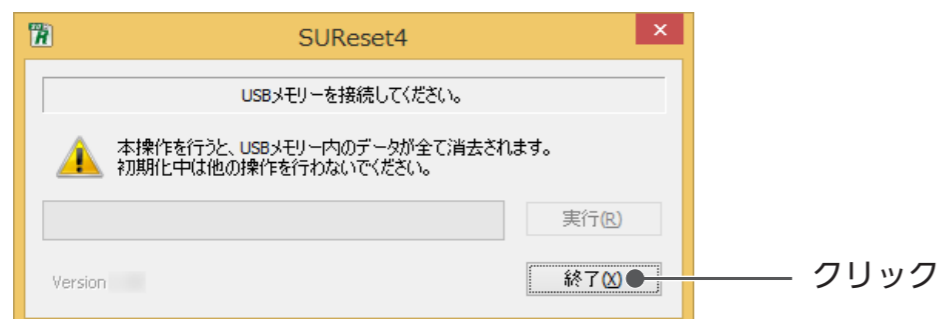
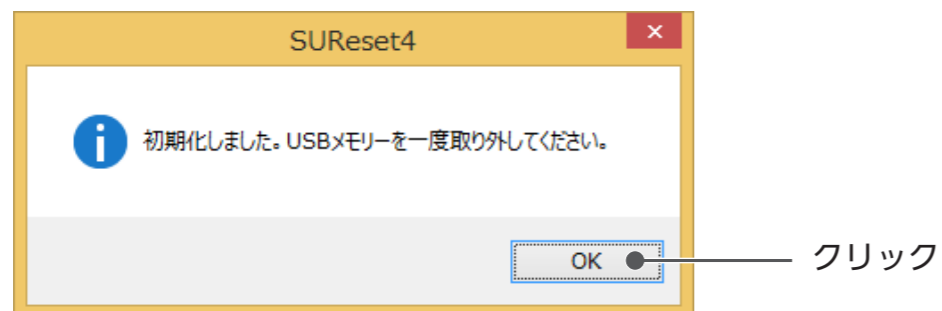
## 6 初期化します。

- 注意**
- 初期化中は本製品を取り外したり、他の操作をおこなわないでください
  - SUReset4 が起動したら、以下に注意してください
    - ・「プログラム領域を表示している画面」を閉じる
    - ・「画面で見るマニュアル」を閉じる（メニューやプログラム領域から開いている場合）



⇒初期化が始まります。

## 7 初期化終了後、画面を閉じます。



⇒初期化後、本製品は自動的に取り外し処理されます。  
本製品をパソコンから取り外してください。

**ヒント** 本製品を使用する場合は、パソコンに挿しなおした後、パスワードの再設定が必要です  
⇒ [【パスワードを設定する】\(12ページ\)](#) 参照

以上で、USBメモリの初期化は完了です。

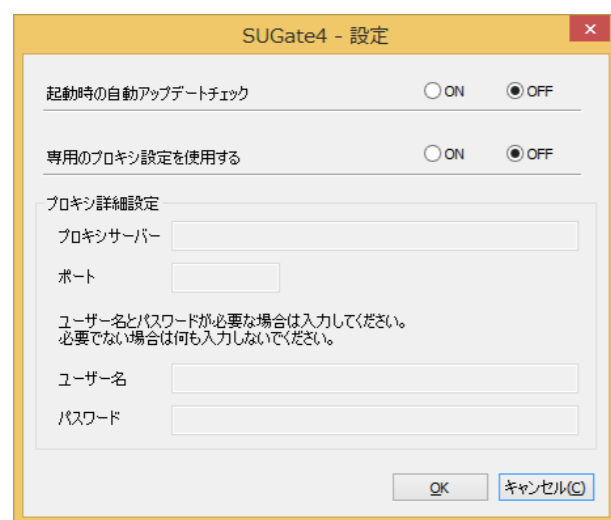
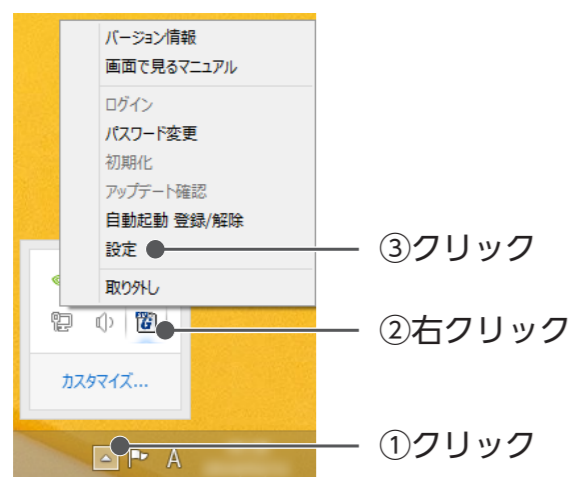
## 自動アップデートチェックの設定をする

本製品にはアップデート可能な最新のソフトウェアがないかチェックする機能があります。  
ご購入時設定で OFF になっています。

設定を ON にしたい場合、またはチェックするときのプロキシを設定したい場合は、以下の手順で設定してください。

**1** 本製品にログインします。  
※ログイン手順は【[ログインする](#)】(15ページ)をご覧ください。

**2** SUGate4のメニューから[設定]をクリックします。



起動時のアップデートチェック	ON: SUGate4起動時にアップデートを自動でチェックします。 OFF: SUGate4起動時にアップデートをチェックをしません。
専用のプロキシ設定を使用する	ON: 専用のプロキシ設定を使用します。 OFF: 専用のプロキシ設定を使用しません。

## ■ 専用のプロキシ設定を使用する場合

プロキシ設定が必要な場合は、以下を設定します。



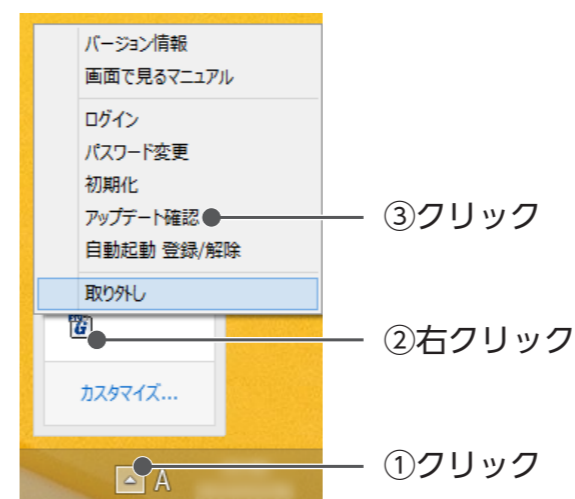
プロキシサーバー	プロキシサーバーのアドレスを入力します。
ポート	プロキシサーバーのポートを入力します。
ユーザー名	必要に応じて、プロキシにアクセスする際のユーザー名を入力します。
パスワード	必要に応じて、プロキシにアクセスする際のパスワードを入力します。

※設定する内容については、ネットワーク管理者にご確認ください。

## ■ 手動でアップデートを確認する

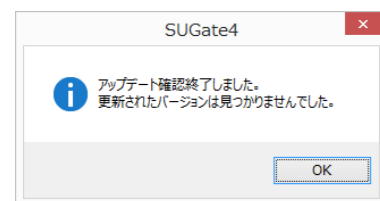
ログイン前であれば、手動でアップデートを確認することができます。

※インターネットに接続されている必要があります。



⇒表示されるメッセージにしたがって進めてください。

## アップデートファイルが見つからない場合

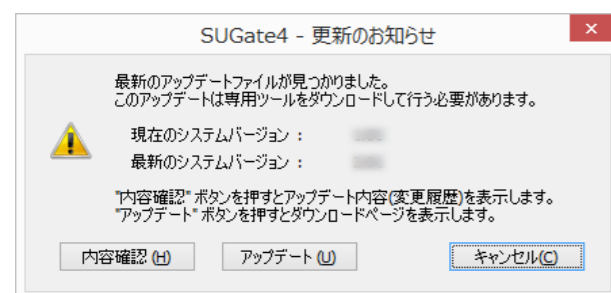


左の画面が表示されます。  
ご利用のソフトウェアが最新です。

## アップデートファイルが見つかった場合

**注意** アップデートする場合、あらかじめ不要なアプリケーションを終了してください  
アップデート実行中は、他の操作をしないでください

アップデートファイルが見つかった場合、以下の画面が表示されます。



内容確認	ブラウザーを起動し、アップデート内容(更新履歴)を表示します。
アップデート	ブラウザーを起動し、アップデートツールのダウンロードページを表示します。 ダウンロードしたツール内の手順に従って進めてください。
キャンセル	アップデートをおこないません。

# macOS で使う

## 準備する (初めて使用する場合)

[パスワードを設定する](#) 32 ページ

## 使ってみる

[ログインする](#) 35 ページ

[取り外す \(ログアウトする\)](#) 38 ページ

## こんなときは

[パスワード・ヒントを変更する](#) 40 ページ

[初期化する](#) 42 ページ

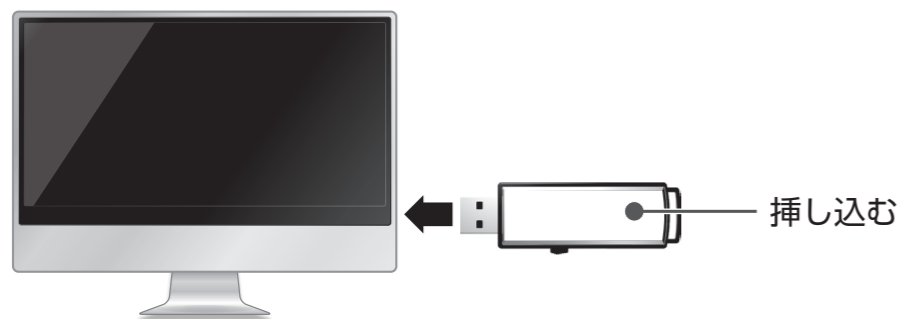
## 準備する (初めて使用する場合)

# パスワードを設定する

本製品を使用するには、最初にパスワードを設定します。

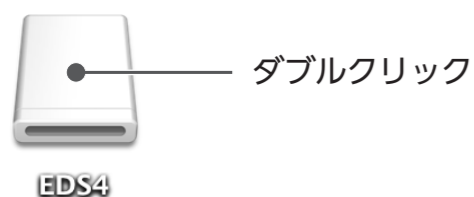
※ Windows で設定済みの場合は必要ありません。

**1** 本製品をパソコンのUSBポートに挿し込みます。

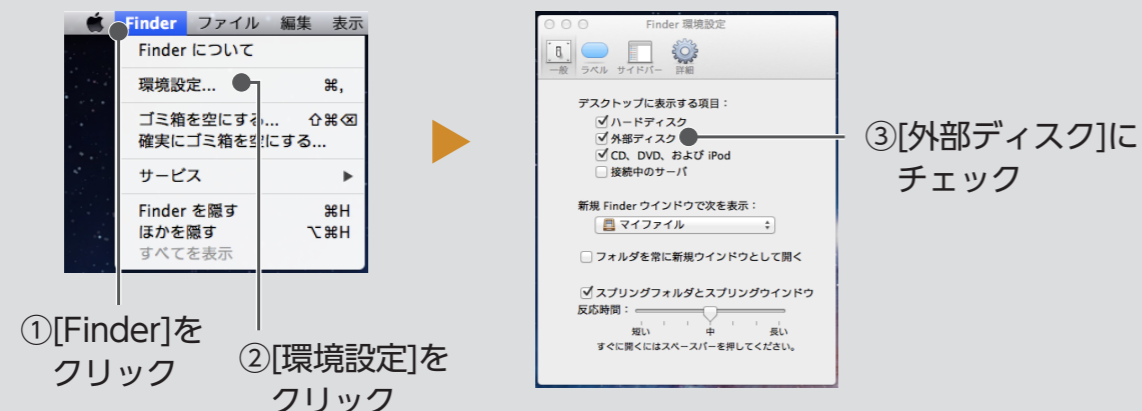


**ヒント** 本製品を初めて使う場合、OS が本製品を認識して、自動的に必要なドライバをインストールします  
ドライバのインストールが終了するまで、SUGate4 での設定、ログインなどはしないでください。

**2** デスクトップ上に表示された[EDS4]を開きます。



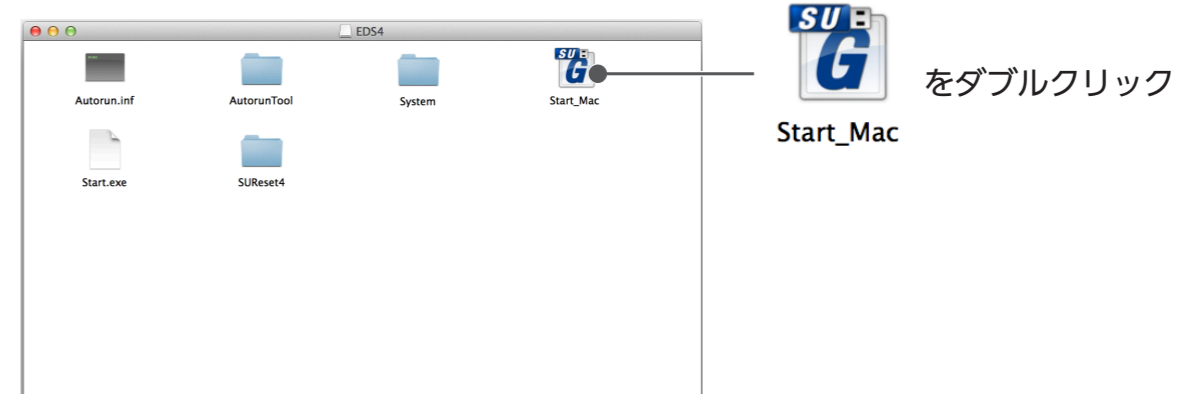
**ヒント** [EDS4] アイコンが追加されない場合  
Finder の環境設定を確認してください。



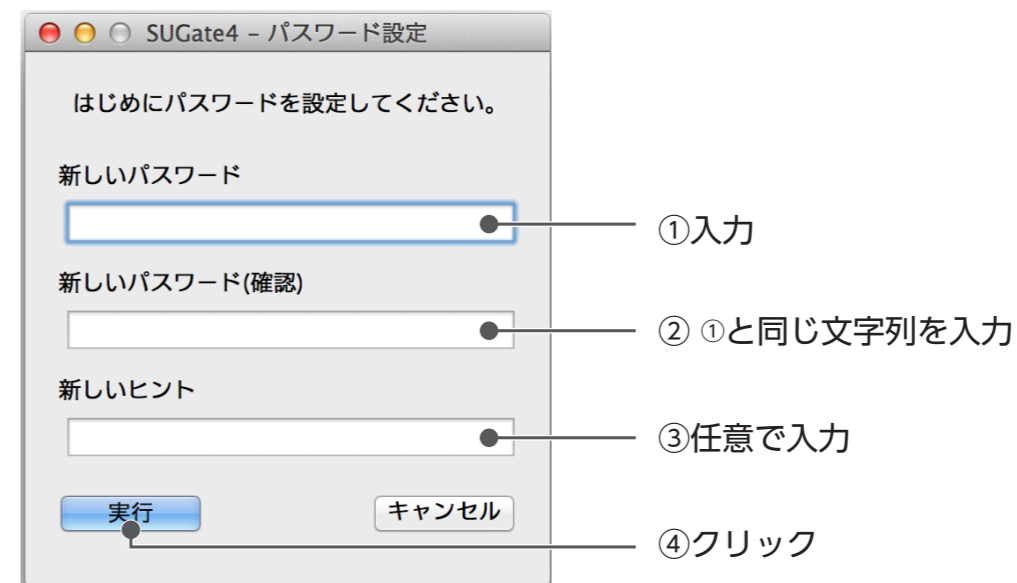
①[Finder]をクリック  
②[環境設定]をクリック

③[外部ディスク]にチェック

**3** SUGate4を起動します。



**4** パスワードを設定します。



新しいパスワード	ログイン時のパスワードとなる文字列を入力します。(半角英数字と半角記号4~16文字) ※大文字・小文字は区別されます。 ※使用できる半角記号は以下です。 !"#\$%&'()+,-./:;<=>?@[^_`{ }~
新しいパスワード(確認)	[新しいパスワード]と同じ文字列を入力します。
新しいヒント	任意で、パスワードを入力する際にヒントとなる文字列を入力します。(0~64文字) ※文字数に半角・全角の区別はありません。

**ヒント** SUHManager によってヒント表示を制限されている USB メモリーでは [新しいヒント] の入力欄は表示されません

はじめに

Windows での使用

macOS での使用

困ったときには

付録

**5** [OK]をクリックします。



以上で、パスワードの設定は完了です。  
次に [【ログインする】 \(35 ページ\)](#) にお進みください。

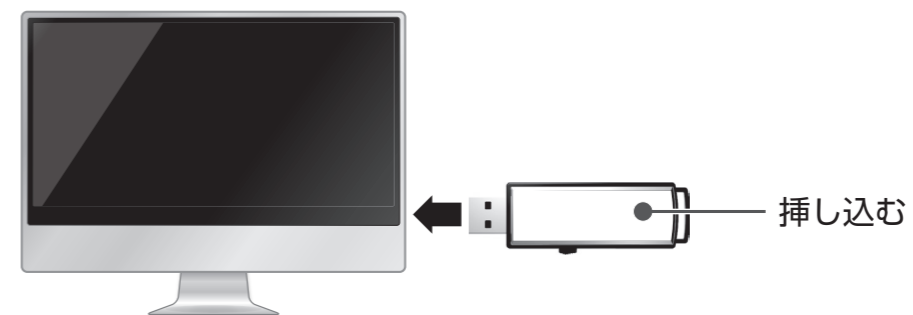
**ヒント** 設定したパスワードは、Windows でログインするときにも使用します

**使ってみる**

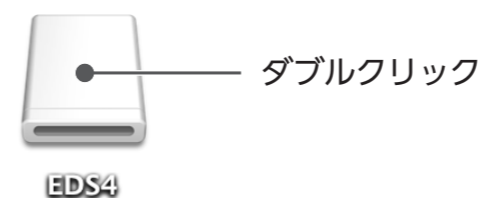
**ログインする**

ログインすると、データの読み書きができるようになります。  
以下の手順でログインしてください。  
※パスワード設定直後の場合は、手順 4 から始めてください。

**1** 本製品をパソコンのUSBポートに挿し込みます。



**2** デスクトップ上に表示された[EDS4]を開きます。



**ヒント** [EDS4] アイコンが追加されない場合  
Finder の環境設定を確認してください。

①[Finder]をクリック  
②[環境設定]をクリック

はじめに

Windows で使う

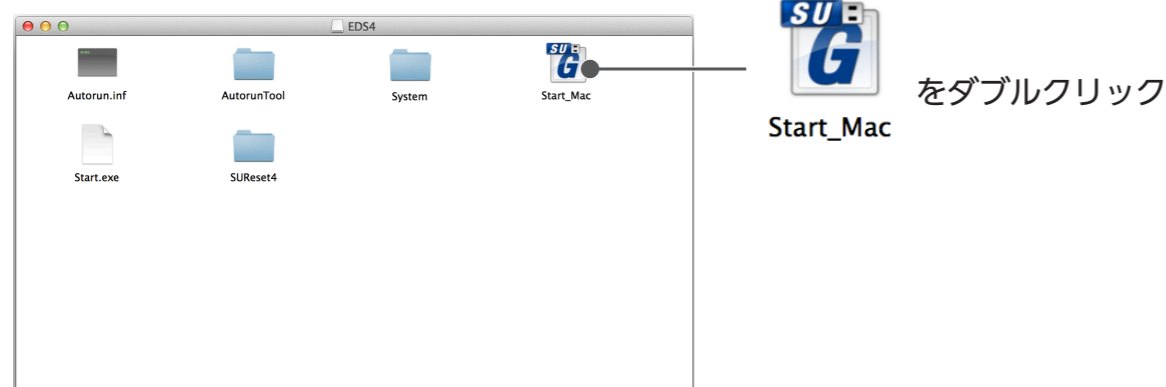
macOS で使う

困ったときには

付録



### 3 SUGate4を起動します。



### 4 パスワードを入力します。

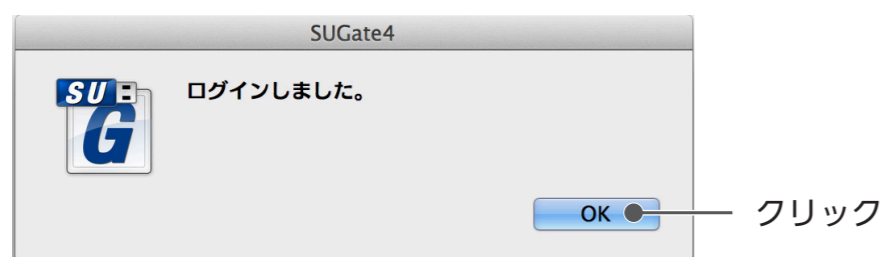


**ヒント** [ヒント]をクリックすると、ヒントが表示されます

#### 注意 パスワードの入力ミスについて

パスワードの入力ミスを連続 5 回すると、ログイン不可能となります。  
 アクセスするためには、初期化ソフトウェア「SUReset4」での初期化が必要です。  
 ⇒ [【初期化する】\(42 ページ\)](#) 参照  
 ※初期化すると、本製品内のデータは全て削除されます。  
 ※初期化には Windows パソコンが必要です。

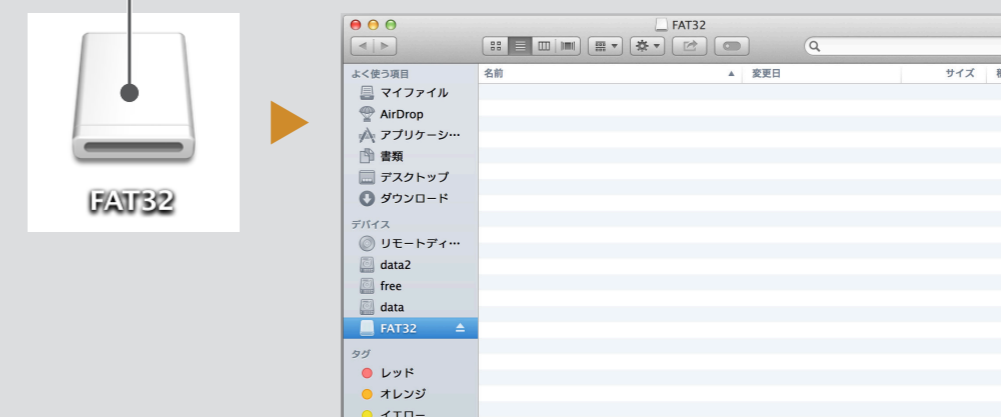
### 5 [OK]をクリックします。



以上で、ログインは完了です。  
 これで通常の USB メモリーと同じように、本製品に対してデータの読み書きができます。

**ヒント** ログイン後、デスクトップのアイコンが「FAT32」※に変わります  
 アイコンをダブルクリックすると、データ保存領域を表示することができます。  
 ※環境により表示が異なる場合があります。(例：「NO NAME」「Untitled」)

ダブルクリック



#### ■ Autorun.inf 自動削除機能について

パスワード認証時に、データ保存領域内をチェックして、「Autorun.inf」があった場合は、削除します。「Autorun.inf」を悪用したオートラン・ウイルスの感染を防止できます。

※ Autorun ウィルスなどの動作を必ず防止できる機能ではありません。  
 ※データ保存領域が書き込み禁止状態の場合、「Autorun.inf」は削除されません。

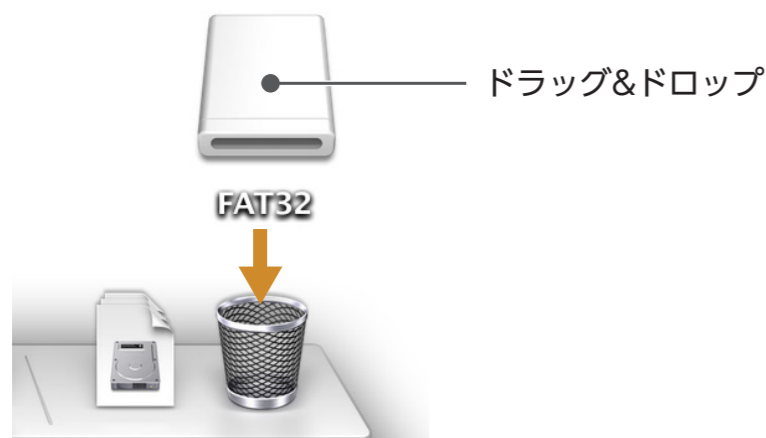
## 取り外す (ログアウトする)

パソコンの電源が入っている状態で取り外す場合は、以下の手順で取り外し (ログアウト) をおこなってください。

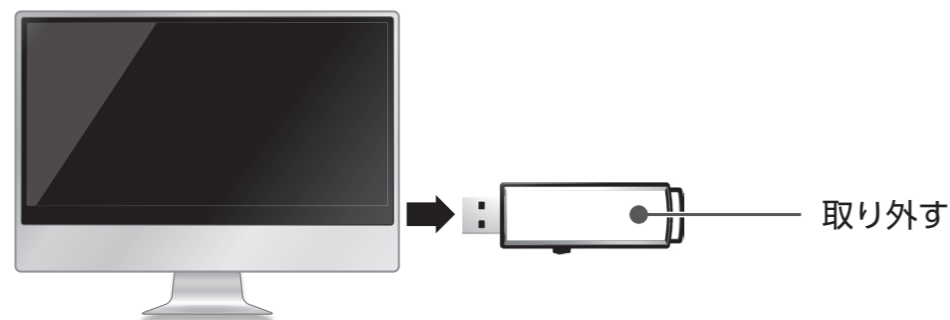
※パソコンの電源を切ってから取り外す場合は、以下の手順は不要です。

- 注意**
- 本製品の読み書き中 (アクセスランプ：点滅) は、パソコンから本製品を取り外さないでください  
データの消失や故障の原因となります。
  - システム終了/ユーザーアカウントのログアウト/スリープ/ユーザーの切り替えは、パソコンから本製品を取り外した後におこなってください。  
実行中のファイルが失われたり、異常終了する可能性があります。

- 1** 本製品のアイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップします。

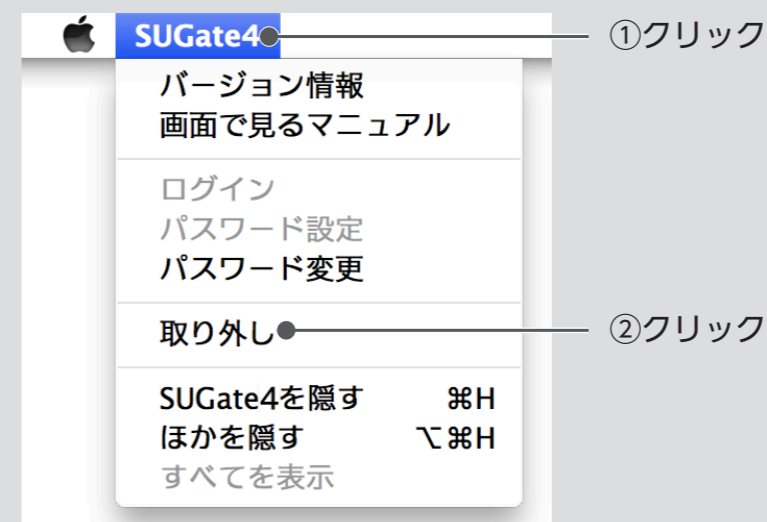


- 2** アクセスランプが点滅していない  
もしくは消灯していることを確認し、取り外します。



以上で、USBメモリーの取り外しは完了です。

**ヒント** アプリケーションメニューからも取り外しできます



**注意** SUGate4 の Dock メニューで [終了] をクリックしてしまった場合

取り外し処理が完了していません。

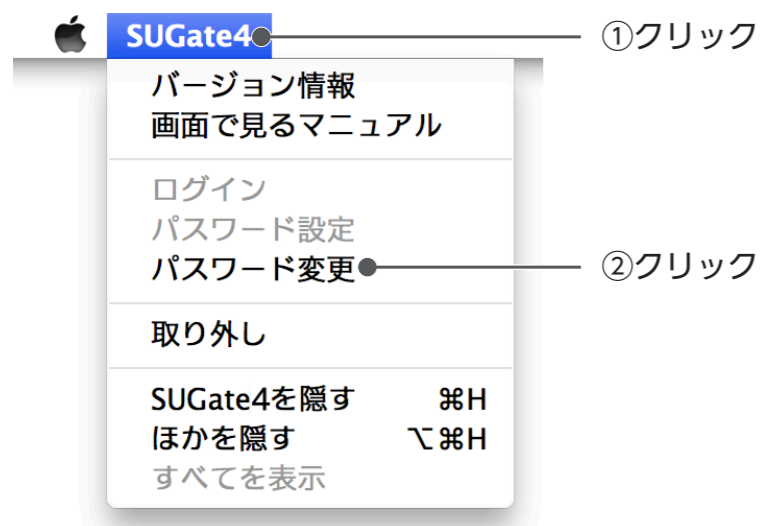
SUGate4 が終了していますので、アイコンをゴミ箱へドラッグ & ドロップして、取り外してください。

こんなときは

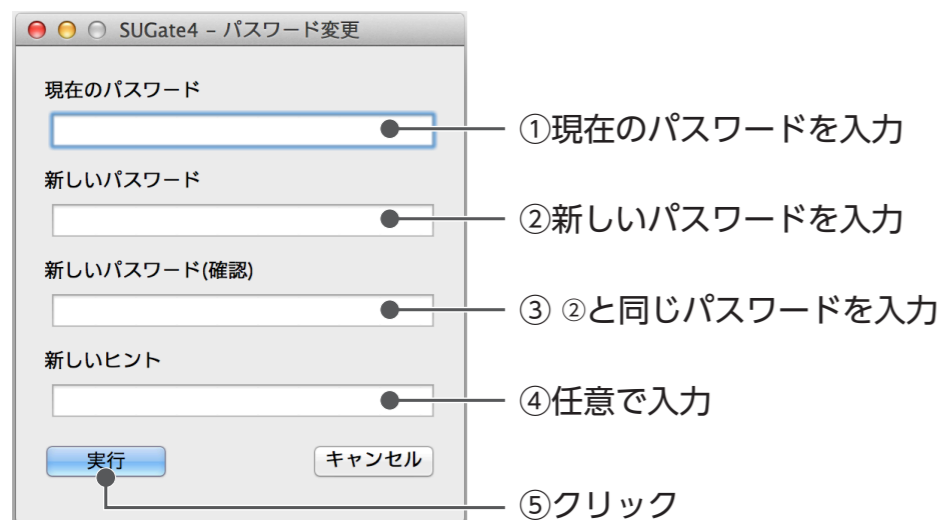
# パスワード・ヒントを変更する

**注意** パスワードを忘れてしまった場合、以下の手順でパスワードを変更できません  
 初期化ソフトウェア「SUReset4」で初期化が必要となります。  
 ⇒ [【初期化する】\(42ページ\)](#) 参照  
 ※初期化をおこなうと、本製品内に保存したデータは全て削除されます。

**1** アプリケーションメニューから、[パスワード変更]をクリックします。



**2** 以下を入力します。



現在のパスワード	現在設定しているパスワードを入力します。
新しいパスワード	ログイン時のパスワードとなる文字列を入力します。(半角英数字と半角記号4~16文字) ※大文字・小文字は区別されます。 ※使用できる半角記号は以下です。 !"#\$%&'()+,./:;<=>?@[^_`{ }~`
新しいパスワード(確認)	[新しいパスワード]と同じ文字列を入力します。
新しいヒント	任意で、パスワードを入力する際にヒントとなる文字列を入力します。(0~64文字) ※文字数に半角・全角の区別はありません。

**ヒント** ヒントのみ変更したいとき  
 [新しいパスワード]に[現在のパスワード]と同じ文字列を入力してください。

**ヒント** SUHManagerによってヒント表示を制限されているUSBメモリーでは  
 [新しいヒント]の入力欄は表示されません

**3** [OK]をクリックします。



以上で、パスワード・ヒントの変更は完了です。

## 初期化する

パスワード入力を連続 5 回間違えた場合や、パスワードを忘れてしまった場合は、初期化をおこなう必要があります。

### 注意

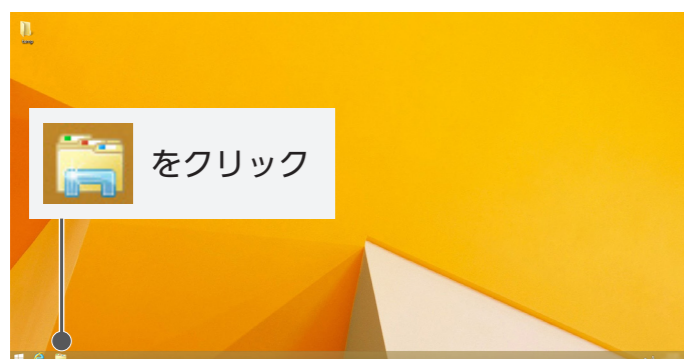
- 初期化をおこなうと、本製品に保存したデータは全て削除されます
- 初期化後、パスワードおよびヒントの再設定が必要です
- 初期化は、Windows のパソコンを使用する必要があります  
macOS では初期化できません
- 本製品が SUHManager で管理されている場合は、管理者に相談してください

**1** Windowsのパソコンを起動し、本製品をパソコンのUSBポートに接続します。

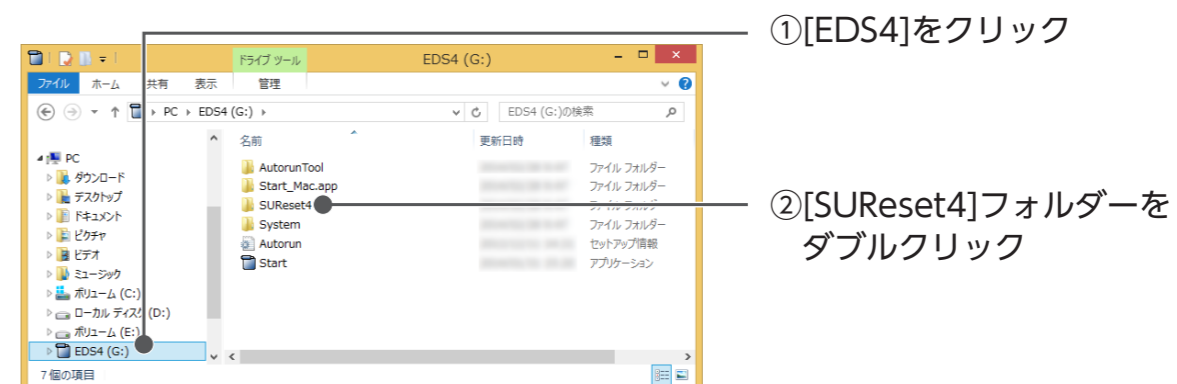
### ヒント

- 本製品は 1 本だけ接続してください  
本製品を複数接続した場合、実行できません。

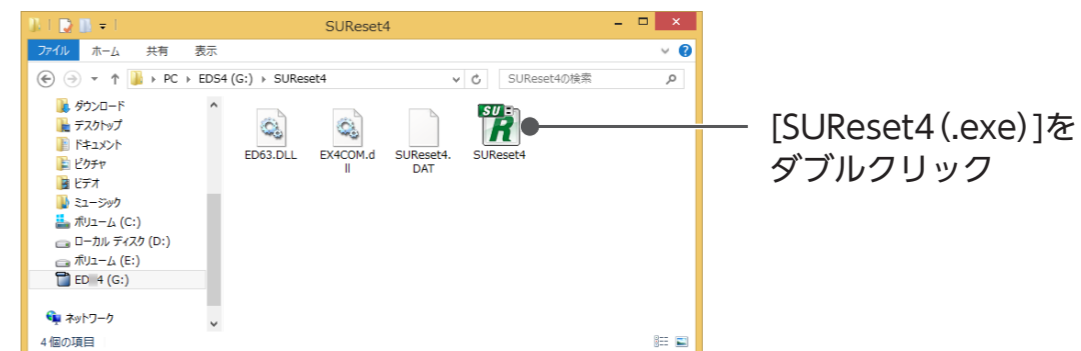
**2** エクスプローラーを開きます。



**3** [SUReset4]フォルダーを開きます。



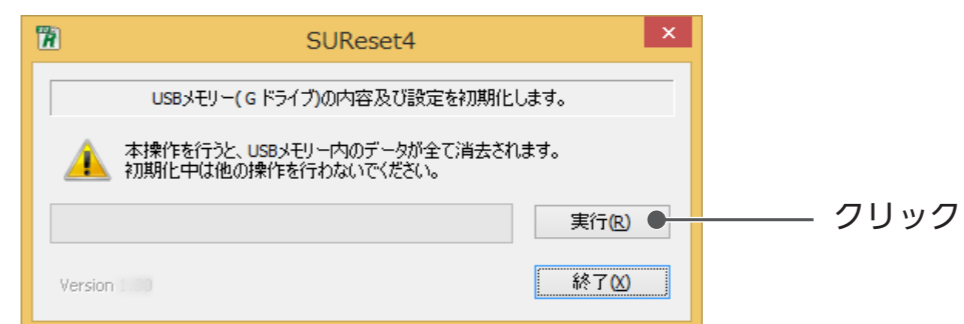
**4** SUReset4を起動します。

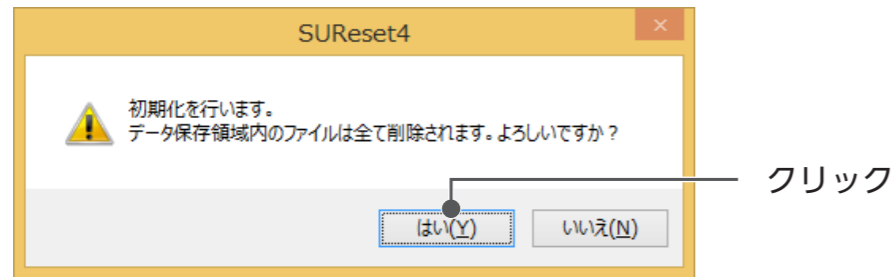


**5** 初期化します。

### 注意

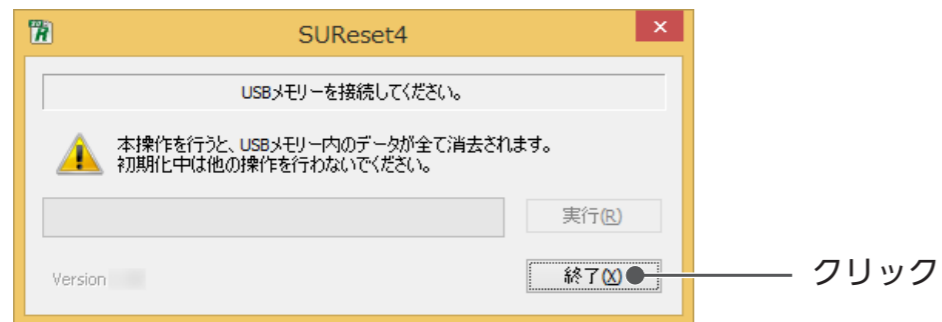
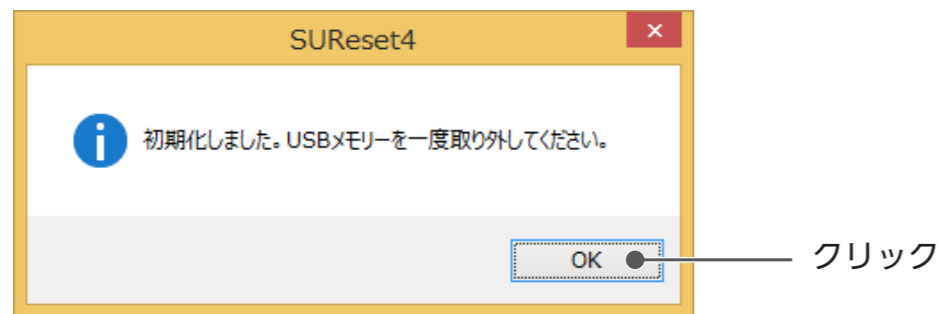
- 初期化中は本製品を取り外したり、他の操作をおこなわないでください
- SUReset4 が起動したら、以下に注意してください
  - ・「プログラム領域を表示している画面」を閉じる
  - ・「画面で見るマニュアル」を閉じる（メニューやプログラム領域から開いている場合）





⇒初期化が始まります。

## 6 初期化終了後、画面を閉じます。



⇒初期化後、本製品は自動的に取り外し処理されます。  
本製品をパソコンから取り外してください。

**ヒント** 本製品を使用する場合は、パソコンに挿しなおした後、パスワードの再設定が必要です  
⇒ [【パスワードを設定する】\(32 ページ\) 参照](#)

以上で、USBメモリーの初期化は完了です。

# 困ったときには

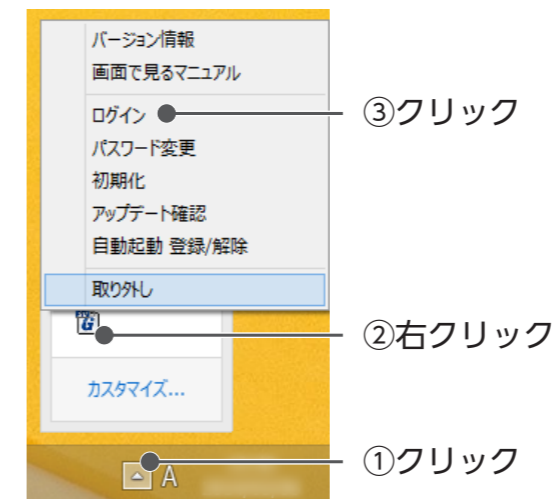
本製品を使用していてトラブルがあった場合にご覧ください。

## よくあるトラブルを確認

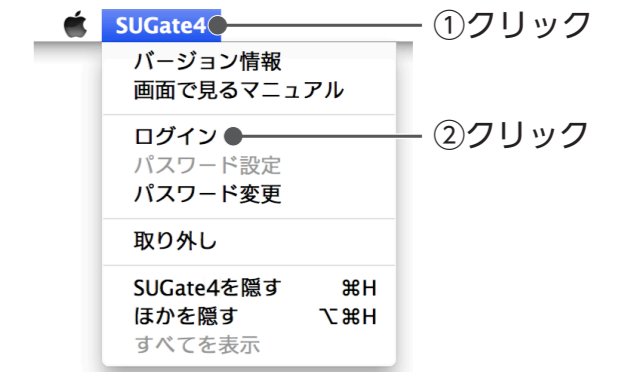
SUGate4を起動しても、パスワード設定画面やログイン画面が表示されない。

**対処** 通知領域にSUGate4アイコンが表示されている場合は、メニューから画面を表示してください。  
例) ログイン画面を表示する

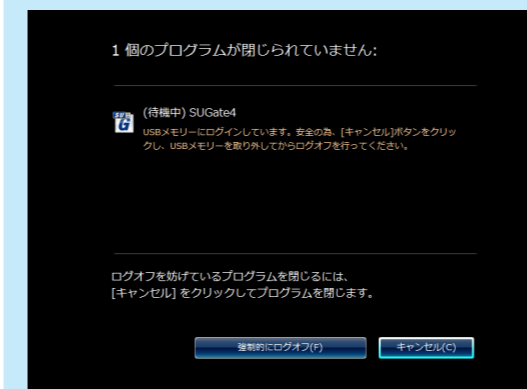
### ▼Windows



### ▼macOS



USBメモリーがログインされている旨の警告画面が表示された。



**原因** データ保存領域にログインしたままWindowsをログオフしようとした。

**対処** [OK]、または[キャンセル] ボタンをクリックし、本製品を取り外してから再度ログオフ(サインアウト)を実行してください。



データ保存領域にログインした状態でスリープ・休止を行った場合、実行中のファイルが失われたり、異常終了する可能性があります。

**原因** データ保存領域にログインした状態でスリープ・休止をすると、使用中であってもデータ保存領域からのログアウトとUSBメモリの取り外しがおこなわれるため。  
(ただしパソコンの状態によっては取り外しがおこなわれない場合がある。)

**対処** USBメモリを取り外してから、スリープ・休止をおこなってください。

容量に空きがあるのに、ファイルが保存できない。

**原因** OSの仕様上、ルートディレクトリに作成できるファイル/フォルダーの数に制限がある。

**対処** フォルダーを作成して、そのフォルダ内にファイルを保存してください。

アップデート中に何らかのエラーが発生しました。  
プログラムの更新が・・・(以下、略)

**原因** 予期せぬファイルアクセス等により、プログラム領域のエンジンアップデート処理に問題が発生した。

**対処** ウイルス対策されたインターネットに接続されている安全なPC環境に本製品を接続し、SUGate4を起動してください。

SUReset4が起動しない。

**原因** SUHManagerやCK-SetInfo等のUSBメモリ用のアプリケーションが動作中にSUReset4を起動した。

**対処** 関連アプリケーションを終了してから、SUReset4を起動してください。

USBメモリが認識されない。  
または、SUGate4の起動に失敗する。

**対処1** USBメモリをUSBポートに挿しても認識しない場合や、SUGate4の起動に失敗する場合は、一度取り外してから挿し直してみてください。

**対処2** USBメモリを接続後、数分時間を置いてからSUGate4を起動してください。

**対処3** OSを再起動してから、USBメモリを接続してSUGate4を起動してください。

**対処4** USBハブをお使いの場合は、USBハブを経由せず、直接本体に接続して、SUGate4を起動してください。

**対処5** パソコン本体に複数USBポートをもっている場合、別のポートに差し替えて、SUGate4を起動してください。

**対処6** 本製品以外のUSB機器や、カードリーダーなどリムーバブルディスクと認識される機器を取り外してから、SUGate4を起動してください。

**対処7** ネットワークドライブのドライブ文字と本製品のドライブ文字が重複していないか確認してください。  
本製品を接続すると、[コンピューター] (または[PC]) に「EDS4」等と記載されたリムーバブルディスクを示すアイコンが1つ表示されます。  
このとき、リムーバブルディスクに割り当てられる新しいドライブ文字がネットワークドライブなど他のドライブと重なってしまうと、USBメモリが正常認識されない現象が発生することがあります。  
この場合は、「ディスクの管理」の画面より、本製品のドライブ文字を変更した後、SUGate4を起動してください。

**対処8** 常駐プログラムが影響を与えていないか確認してください。  
常駐プログラムを以下の手順で停止することで影響の有無を確認できる場合があります。  
確認する場合、元の状態に戻せるように必ずメモをしながら実施してください。

▼Windows 10/8.1の場合

- ① 画面左下の検索ボックスに[msconfig]を入力し、表示された[msconfig.exe]をクリック
- ② [スタートアップ]タブをクリックし、[タスクマネージャを開く]をクリック
- ③ Microsoft Corporationに属するもの以外の項目の選択し、[無効にする]をクリック
- ④ 画面を閉じ、パソコンを再起動

▼Windows 7の場合

- ① [スタート]-[すべてのプログラム]-[アクセサリ]-[ファイル名を指定して実行]をクリック
- ② [名前]欄に[msconfig]と入力し[OK]をクリック
- ③ [スタートアップ]タブをクリックし、Microsoft Corporationに属するもの以外の項目のチェックを外し、[適用]をクリック
- ④ [OK]をクリックし[再起動]をクリック

## エラーメッセージ一覧

本製品を使用中にエラーメッセージが表示された場合は、以下をご確認ください。

※ SUHManager で管理された USB メモリーは、[【SUHManager で管理された USB メモリーの場合】\(51 ページ\)](#) をご覧ください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対処
A000	パスワードが不正です。	ログイン・パスワード変更時に入力したパスワードが間違っている。	正しいパスワードを入力してください。
A001	次のパスワード認証に失敗した場合、データ保存領域へのアクセス及びパスワード変更ができなくなります。	対象USBメモリーがパスワード入力/パスワード変更を後1回ミスすると、パスワードミス回数の累積が制限値を超える状態である。	正しいパスワードを入力してください。
A008	システムバージョン情報の読み込みに失敗しました。	USBメモリーが取り外される等の要因で、USBメモリーから情報を取得できなかった。	USBメモリーを取り外し、再度接続してください。その後、ログイン操作をおこなってください。
A009	USBメモリーがログインした状態で接続されています。安全の為、USBメモリーを取り外してからログオフを行ってください。	データ保存領域にログインしたまま、Windowsのログオフをした。	本製品を取り外してからWindowsのログオフをおこなってください。
A011	パスワードは最低4文字必要です。	パスワード設定/変更時に3文字以下のパスワードを入力した。	パスワードは4~16文字に設定してください。
A012	「新しいパスワード(確認)」が一致しません。	パスワード設定/変更時に「新しいパスワード」と「新しいパスワード(確認)」が同じ文字列ではない。	「新しいパスワード」と「新しいパスワード(確認)」には同じ文字列を入力してください。
A015	パスワードのミス連続回数が制限値を越えたため、ログイン/パスワード変更ができません。	パスワード入力を連続ミス可能回数ミスをしました。	SUReset4 または SUHManager で初期化するか、SUHManager でパスワードミス回数のリセットをしてください。 SUReset4については <a href="#">【初期化する】(24ページ)</a> を参照してください。 SUHManagerについては管理者へお問い合わせください。  ※連続ミス回数のリセットは、あらかじめSUHManagerに登録済みのUSBメモリーにのみ行えます。
A018	パスワードの設定に失敗しました。	初回起動時のパスワード設定で何らかの問題が発生した。	USBメモリーを取り外し、再度接続してください。その後、ログイン操作をおこなってください。 <a href="#">【パスワードを設定する】(12ページ)</a> 参照)
A026	複数本の対象USBメモリーが接続されています。ご使用になるUSBメモリーのみを接続し、SUGate4を再起動してください。	セキュアUSBメモリーがパソコンに複数接続されている。	使用するUSBメモリーのみをPCに接続し、SUGate4を起動してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対処
A027	対象USBメモリーを発見できません。USBメモリーを一旦取り外し、再度接続してください。	接続したUSBメモリーがOSに正しく認識されていないため、SUGate4の認識処理に失敗した。	USBメモリーを初回接続した時の場合、OSの認識に時間がかかる場合があります。数分時間を置いてから、SUGate4を再び起動してください。  上記以外の場合や問題が改善しない場合、 <a href="#">【USBメモリーが認識されない。または、SUGate4の起動に失敗する。】(47ページ)</a> の対処内容を確認してください。
A028	Guestアカウントでは本ソフトウェアはご使用できません。	Guestアカウントで動作させた。	管理者 (Administrator) 権限またはユーザー権限でご使用ください。
A029	SUGate4はStart.exeから起動してください。	SUGate4.exeを直接起動した。	Start.exeから起動してください。
A030	お使いのOSではこのUSBメモリーを利用できません。	SUGate4の対応外OSで起動した。	SUGate4の対応OSで使用してください。 <a href="#">【動作環境・ハードウェア仕様】(8ページ)</a> 参照)
A031	USBメモリーがログインした状態で接続されています。安全のため、取り外してからスタンバイ・休止を行ってください。	データ保存領域にログインした状態でWindowsをスタンバイ・休止状態にした。	USBメモリーを取り外してから、スタンバイ・休止をおこなってください。
A032	本ソフトウェアはUSBメモリーのプログラム領域から起動してください。	プログラム領域のシステムデータをデスクトップ等にコピーして実行した。	USBメモリー上からSUGate4を起動してください。 <a href="#">【パスワードを設定する】(12ページ)</a> 、 <a href="#">【ログインする】(15ページ)</a> 参照)
A036	USBメモリーにアクセスしているアプリケーションがあるため、ログインに失敗しました。	ログイン前のUSBメモリーにアクセスしているアプリケーションが見つかったため、安全のためログインを中止した。	USBメモリーにアクセスしている可能性のあるアプリケーションを全て終了してからログインを行ってください。
A037	SUReset4の起動に失敗しました。	SUReset4の起動時に何らかの問題が発生した。	USBメモリーを取り外し、再度接続してください。その後、SUReset4の起動をおこなってください。
A038	自動起動ツールの起動に失敗しました。	自動起動ツールの起動時に何らかの問題が発生した。	USBメモリーを取り外し、再度接続してから、プログラム領域内のAutorunToolフォルダ内にあるSetGateAutorun.exeを直接実行してください。
A043	データ保存領域のドライブにアクセスできません。	ログイン直後に何らかの原因でデータ保存領域にアクセスできなかった。	常駐ソフトを確認して解除、あるいは削除をするなどして、パソコンの処理速度の改善をおこなってください。
A044	Autorun.infファイルの削除に失敗しました。	ログイン直後に何らかの原因でAutorun.infファイルの削除に失敗した。	常駐ソフトを確認して解除、あるいは削除をおこなってください。 データ保存領域が書き込み禁止状態の場合、一旦削除した後にAutorun.infファイルを削除してください。
A050-xxxx xxxx	アップデートサーバーへの接続に失敗しました。(xxxxxxxはエラーを示す数値)	インターネットに接続されていない、または、ネットワークの設定(ファイアウォール・プロキシ等)により、当社のWebサーバーへの接続に失敗した。	ブラウザでWebを開覧出来る環境(HTTP通信できる環境)でアップデートをおこなってください。
A063	設定情報の読み込みに失敗しました。	設定画面を開くとき何らかの問題が発生した。	再度設定画面を開いてください。 問題が改善しない場合は一度USBメモリーを取り外し、再度接続してから試してください。
A064	設定情報の書き込みに失敗しました。設定された情報は正常に記録されていない可能性があります。	設定情報を書き込むとき何らかの問題が発生した。	再度設定画面を開いて設定を保存してください。 問題が改善しない場合は一度USBメモリーを取り外し、再度接続してから試してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対処
A067	データ保存領域の書き込み禁止設定に失敗しました。	ログイン時に指定した、書き込み禁止または書き込み許可設定に失敗した。	USBメモリーを取り外し、再度接続してください。 その後、ログイン操作をおこなってください。 (Windows編:【 <a href="#">取り外す(ログアウトする)</a> 】(18ページ)、【 <a href="#">ログインする</a> 】(15ページ)参照) (macOS編:【 <a href="#">取り外す(ログアウトする)</a> 】(38ページ)、【 <a href="#">ログインする</a> 】(35ページ)参照)
A077	SUGate4はStart_Mac.appから起動してください。	SUGate4_Mac.appを直接起動した。	Start_Mac.appから起動してください。
A081	USBメモリーにログインしている状態で、OSのログアウト処理が行われています。  [OK]ボタンを押すと、USBメモリーが取り外されます。	USBメモリーがログインしている状態で、ユーザーアカウントのログアウト、システム終了、または、再起動を行った。	USBメモリーを取り外した状態でユーザーアカウントのログアウト、システム終了、再起動を行ってください。
B002	SUGate4が動作した状態でSUReset4を起動しました。	SUGate4が起動した状態で、直接SUReset4を起動した。	一度全てのUSBメモリーを取り外してから【 <a href="#">初期化する</a> 】(24ページ)に記載された手順に従って初期化をおこなってください。
B003	Guestアカウントでは本ソフトウェアはご利用いただけません。	Guestアカウントで動作させた。	管理者またはユーザーアカウント(一部OS除く)権限にて動作させてください。
B004	管理者アカウントで実行してください。	管理者権限が必要なOSでSUReset4を起動した。	管理者権限でSUReset4を起動してください。
B008	USBメモリーは1つのみ接続してください。	SUReset4の対象USBメモリーが2本以上接続されている。	SUReset4による初期化をおこなう場合は必ず1本のみ接続してください。
B009	接続されたUSBメモリーは対応外のUSBメモリーです。 このSUReset4では初期化できません。	接続されたUSBメモリーが対応外のUSBメモリーである。	SUReset4で初期化できないUSBメモリーが接続されています。
B010	接続されたUSBメモリーはこのSUReset4では初期化できません。 プログラム領域に保存されたSUReset4を利用してください。	接続されたUSBメモリーが対応外のUSBメモリーである。	プログラム領域に保存されたSUReset4を利用してください。  【 <a href="#">初期化する</a> 】(24ページ)参照
B013	ドライブレターを正しく取得できませんでした。 SUReset4を一度終了して、再起動した状態でデバイスを接続してください。	デバイスの認識処理中に何らかの問題が発生した。	本製品を取り外し、SUReset4を起動した後、本製品を接続してください。
B014	お使いのOSでは本ソフトウェアはご利用いただけません。	対応外のOSでSUReset4を起動した。	対応OSで動作させてください。  【 <a href="#">動作環境・ハードウェア仕様</a> 】(8ページ)参照
B015	USBメモリーが取り外されました。	初期化中に何らかの問題が発生した。	本製品を取り外し、再度接続してください その後、SUReset4にて初期化をおこなってください。
B016	USBメモリーログの保存に失敗しました。	デバイスの認識状態に何らかの問題が発生した。	本製品を取り外し、再度接続してください その後、SUReset4にて初期化をおこなってください。

## ■ SUHManager で管理された USB メモリーの場合

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対処
A002	残り x回のパスワード認証に失敗した場合、データ保存領域へのアクセス及びパスワード変更ができなくなり、初期化が必要になります。	対象USBメモリーがパスワード入力 / パスワード変更を後x回ミスすると、SUReset4による初期化が必要である。 回数はUSBメモリーポリシーで設定した累積パスワードミス回数により変化する。	正しいパスワードを入力してください。
A003	このPCは既に許可候補となっています。USBメモリーを取り外してください。 接続中のPCで本USBメモリーを使用する場合は、管理者に許可依頼を行ってください。	PC識別機能が有効となっているUSBメモリーを、許可候補PCとなっているパソコンに再び接続した。	許可候補PC環境でこのUSBメモリーを利用したい場合は、このUSBメモリーあるいはSUGateInfoAG.exeを利用して、管理者に許可候補PCの許可依頼をおこなってください。
A004-x	ご使用のPCまたはアカウントは、本製品の使用が許可されていません。 使用許可設定については管理者にお問い合わせください。	簡易PC識別機能が有効となっているUSBメモリーを、使用を許可されていないパソコンに接続した。	CK-SetInfo.exeを利用して、PCの許可設定をおこなってください。 xには1,2,3のいずれかが入ります。 CK-SetInfo.exeは管理者から入手してください。
A011	パスワードは最低x文字必要です。	新しいパスワードに入力した文字数が、USBメモリーポリシーが定める最低文字数よりも少ない。	新しいパスワードの文字数をx文字以上にしてください。 xはUSBメモリーポリシーで定めた最低文字数が表示されます。
A013	パスワード文字列をヒントに設定することはできません。	パスワードがヒントメッセージに含まれている。	パスワードを含まないようにヒントとなる文字列を設定してください。
A014	パスワードは以下の条件に従って設定してください。 英大文字:a文字 英小文字:b文字 数字:c文字 記号:d文字	新しいパスワードに入力した文字が、USBメモリーポリシーが定めるパスワード文字制限を満たしていない。	新しいパスワードの文字を文字制限を満たす文字列にしてください。 a,b,c,dにはUSBメモリーポリシーで定めた半角英数字、半角記号の最低文字数が表示されます。 仮にa = 2 の場合、A~Zの半角大文字アルファベットが最低でも2文字以上パスワードに含まれている必要があります。
A016	パスワードのミス回数の累積が制限値を越えたため、ログイン/パスワード変更ができません。 初期化を行ってください。	パスワード入力を連続100回ミスした。	SUReset4またはSUHManagerで初期化をおこなってください。 (SUReset4およびSUHManagerについては管理者へお問い合わせください。)
A020	現在と同じパスワードを設定することはできません。	パスワード変更画面で新しいパスワードに入力した文字列が、現在のパスワードと同じ文字列である。	新しいパスワードに入力した文字列を、現在のパスワードと異なる文字列にしてください。
A022	ネットワークアダプタが見つかりませんでした。 USBメモリーを取り外してください。 接続中のPCではPC識別機能をお使いいただくことはできません。	PC識別機能が有効となっているUSBメモリーを、ネットワークアダプタの無いパソコンに接続した。	ネットワークアダプタが接続されていない環境では、PC識別機能は利用できません。
A023	内部エラーが発生しました。PC情報が取得できません。 USBメモリーを取り外してください。	PC識別機能が有効となっているUSBメモリーが、識別処理中に何らかの問題が発生した。	USBメモリーを取り外し、再度接続してください。



エラー番号	エラーメッセージ	原因	対処
A024	ご使用のOSで本USBメモリーを利用することは、USBメモリーポリシーにより制限されています。使用許可設定については管理者にお問い合わせください。	使用OS制限機能が有効になっているUSBメモリーが、許可されていないOSまたはService Packのパソコンに接続された。	管理者に許可されているOS、ServicePackのパソコンを利用してください。 あるいは、管理者に相談して制限されるOSの設定を変えてもらってください。
A025	許可候補リスト追加処理に失敗しました。	PC識別機能が有効となっているUSBメモリーが、許可候補PCに登録する処理に失敗した。	USBメモリーを取り外し、再度接続してください。
A040	パスワードの有効期間が過ぎています。 パスワード変更を行って下さい。	パスワードの有効期限が過ぎている。	パスワードの変更をおこなってください。
A041	パスワードの有効期間が過ぎています。 管理者にお問い合わせで、パスワード変更を依頼して下さい。	パスワードの有効期限が過ぎている。	SUHManagerによるパスワードの変更をおこなってください。
A042	許可候補PCリストに登録できる最大数を越えた為、新規で追加できません。 USBメモリーを取り外してください。 管理者に、許可候補リストの編集を依頼してください。	許可候補PCリストに登録できるPCの最大数を越えている。	SUHManagerを使って、許可候補となっているPCリストを編集して、不要なPC情報を削除してください。
A058	承認コードの試行回数が制限値を超えたため、パスワードロックの解除は行えません。 管理者にお問い合わせください。	承認コードの入力ミス回数が制限値(100回)を超えた。	管理者にお問い合わせいただき、承認コードに問題がないか確認してください。
A059	承認コードは40桁の文字(上20桁、下20桁)を入力する必要があります。	承認コードの入力欄に半角英数字で40文字入力されていない。	承認コードの入力欄に半角英数字で40文字入力してください。
A060	承認コードに不明な文字コードが入力されています。	承認コードの入力欄に半角英数字以外の文字が入力されている。	承認コードの入力欄に半角英数字で40文字入力してください。
A061	承認コードが正しくありません。 入力したコードの値を確認してください。 ※ 承認コードは発行日のみ有効です。 ※ 入手した承認コードでパスワードが再設定できない場合、管理者にお問い合わせください。	入力された承認コードが間違っている。 あるいは、管理者が承認コードを発行した日から、1日以上経過してからコードを入力した。	正しい承認コードを管理者が発行した日に入力してください。
A062	パスワードのミス回数の累積が制限値を超えているため、パスワードの再設定ができません。初期化を行ってください。	パスワード連続ミス回数と承認コードの入力ミスを連続100回した。	SUHManagerで初期化をおこなってください。 SUHManagerについては管理者へお問い合わせください。
A066	USBメモリーの使用期間が過ぎました。 USBメモリー使用期間の再設定をおこなってください。	「USBメモリー使用期間設定ツール」で指定した、使用終了日を過ぎた状態で、USBメモリーを使用した。	USBメモリー使用期間の再設定が必要です。 管理者に相談してください。

エラー番号	エラーメッセージ	原因	対処
A079	下記ポリシーが有効であるため、本USBメモリーを使用できません。 管理者にお問い合わせください。  - PC識別機能 - 簡易PC識別機能 - 使用OS制限	[-PC識別機能]が表記されている場合、 [PC識別機能]ポリシーが有効になっている。  [-簡易PC識別機能]が表記されている場合、 [簡易PC識別機能]ポリシーが有効になっている。  [-使用OS制限]が表記されている場合、 [使用OS制限]ポリシーが有効になっており、許可されていないmacOSに接続された。	[-PC識別機能]、[-簡易PC識別機能]が表記されている場合、macOSでSUGate4を利用するには[PC識別機能]、[簡易PC識別機能]ポリシーが無効である必要があります。 ポリシーの変更については管理者に相談してください。  [-使用OS制限]が表記されている場合、 管理者に許可されているmacOSを利用してください。 あるいは、管理者に相談して制限されるOSの設定を変えてもらってください。
A081	USBメモリーにログインしている状態で、OSのログアウト処理が行われています。  [OK]ボタンを押すと、USBメモリーが取り外されます。	USBメモリーがログインしている状態で、ユーザーアカウントのログアウト、システム終了、または、再起動を行った。	USBメモリーを取り外した状態でユーザーアカウントのログアウト、システム終了、再起動を行ってください。
B006	SUReset4.DATファイルの読み込みに失敗しました。	SUReset4を実行するのに必要なファイルが不足している。	SUReset4を実行するには「SUReset4exe、SUReset4.dat、EX4COM.dll、ED63.DLL」の4ファイルを同一フォルダ内に用意する必要があります。
B011	接続されたUSBメモリーは管理者ソフトウェアで初期化されているため、初期化するには専用のSUReset4が必要となります。	SUHManagerで管理されたUSBメモリーを初期化しようとしている。	SUHManagerで管理されているUSBメモリーは、プログラム領域にあるSUReset4では初期化できません。 管理者からSUReset4を入手する必要があります。
B012	このUSBメモリーはマスターパスワード機能が有効なため、SUReset4での初期化はできません。 管理者に連絡してください。	SUHManagerで管理されたUSBメモリーを初期化しようとしている。	マスターパスワード機能が有効になっているため、初期化ができるのは管理者のみとなります。 管理者に連絡して初期化をおこなってもらってください。

## 「オプションソフトウェア」について

USBメモリーの使い方を広げるオプションソフトウェアをご用意しております。  
※ Windowsのみご利用いただけます。

### 【無料ダウンロード】QuickSecureAES256

インストール不要で、ファイルをドラッグ&ドロップするだけで手軽に暗号化できます。  
より強固なセキュリティ環境を作ることができます。

詳細については、以下の弊社 Web ページをご覧ください。

⇒ <https://www.iodata.jp/product/usbmemory/security/>

## 「管理者用ソフトウェア」について

管理者用ソフトウェア「SUHManager」を導入すると、USBメモリーに各種カスタマイズを加えたり、ログを収集したりと多数の管理機能を活用することができます。

例えば以下の機能があります。

- ・パスワード忘失時に、データを救済できる
- ・パスワードポリシーをカスタマイズできる
- ・使用ログを管理できる
- ・USBメモリーを安全に廃棄できる

詳細については、以下の弊社 Web ページをご覧ください。

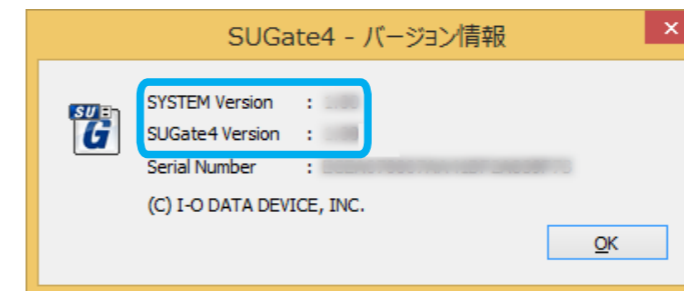
⇒ <https://www.iodata.jp/product/usbmemory/security/>

## バージョン情報の確認

システム、SUGate4、SUReset4 のバージョン情報の確認方法を説明します。

### ■ システム、SUGate4

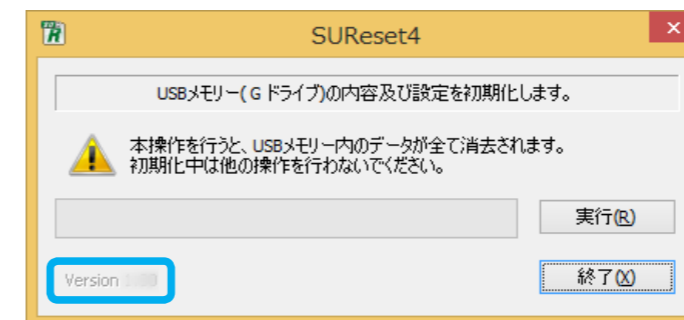
通知領域の SUGate4 アイコンを右クリックし（macOS の場合は SUGate4 のアプリケーションメニューから）、「バージョン情報」で表示できます。



※ macOS の場合、SUGate4 のバージョンのみ表示されます。

### ■ SUReset4

SUReset4 起動時の画面に表示されます。



### ■ バージョンアップ等に関する情報について

バージョンアップなど「SUGate4」、「SUReset4」に関する最新の情報は、下記 Web ページをご覧ください。

- サポート Web ページ ⇒ <https://www.iodata.jp/support/>
- サポートライブラリ ⇒ <https://www.iodata.jp/lib/>



# アフターサービス

- 本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。
- 個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー (<https://www.iodata.jp/privacy.htm>) に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

## ■ お問い合わせについて

### 1 お問い合わせいただく前に以下をご確認ください

▶ <https://www.iodata.jp/support/>

① 「Q&A よくあるご質問」を参照

② 最新のソフトウェアをダウンロード



### 2 それでも解決できない場合は、サポートセンターへ



電話 ▶ **050-3116-3021**

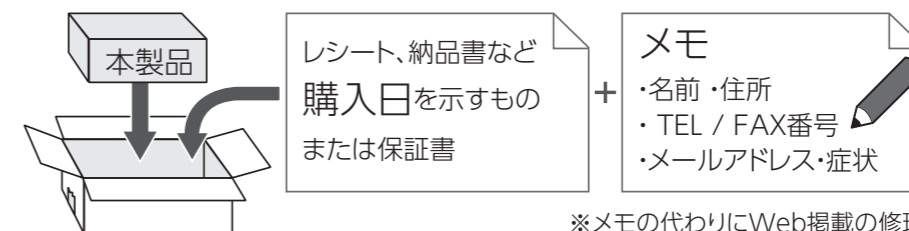
受付時間 9:00~17:00 月~金曜日  
(祝祭日・年末年始・夏期休業期間をのぞく)

メール ▶ <https://www.iodata.jp/support/after/esupp.htm>



## ■ 本製品の送付について

本製品が正常に動かなくなった場合は、  
以下を梱包し、修理センターへお送りください



※メモの代わりにWeb掲載の修理依頼書を印刷すると便利です。

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地  
株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

※ 厳重に梱包してください。

弊社到着までに破損した場合、有料修理となる場合があります。

※ 紛失をさけるため宅配便でお送りください。

※ 送料は、発送時はおお客様ご負担、返送時は弊社負担です。



【見積無料】有料となる場合は、先に見積をご連絡します。金額のご了承をいただいてから、交換いたします。

【シール】お客様が貼られたシールなどは、修理時に失われる場合があります。

【保証内容】ハードウェア保証規定をご確認ください。

【控え】製品名とシリアル番号(S/N)はお手元に控えておいてください。

【詳しくは】以下のURLをご覧ください(修理依頼書はここから印刷できます)。

▶ <https://www.iodata.jp/support/after/>

### 内部のデータについて

内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップしてください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。

[ 商標について ]

記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

はじめに

Windows 使用

macOS 使用

困ったときには

付録